

北九州市子ども・子育て支援に関する
市民アンケート調査

報 告 書
(概要版)

北九州市子ども家庭局

目 次

I. 調査の概要.....	1
---------------	---

II. 調査結果.....	3
---------------	---

就学前A・B、小学生、中学・高校生保護者共通

1 子どもの人数と平均年齢.....	3
2 同居者の続柄.....	4
3 子育て（教育を含む）を主に行っている人.....	5
4(1) 子どもの起床時刻.....	6
4(2) 子どもの就寝時刻.....	7
4(3) 子どもの平均睡眠時間.....	8
5 保護者の就労状況.....	9
6 子育てが地域の人に支えられていると感じるか.....	10
7 今後、力を入れてほしい情報発信の手段.....	11
8 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれていると思うか.....	12

就学前A・B保護者

9(1) 子育てに関する悩みや不安.....	13
9(2) 子育てに関する悩みの内容.....	14
10(1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況.....	15
10(2) 平日の定期的な教育・保育事業の利用内容.....	16
11(1) 利用施設の満足度（幼稚園）.....	17
11(2) 利用施設の満足度（認可保育所）.....	18
12 平日に定期的な教育・保育事業を利用していない理由.....	19
13 平日の定期的な教育・保育事業の利用希望.....	20
14(1) 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望.....	21
14(2) 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望.....	22
15 より力を入れてほしい子育て支援策.....	23

小学生保護者

16(1) 子育てに関する悩みや不安.....	24
16(2) 子育てに関する悩みの内容.....	25
17 子どもが放課後（平日）および休日に過ごす場所.....	26
18 放課後児童クラブの利用状況.....	27
19 放課後児童クラブの満足度.....	28

20 放課後児童クラブを利用していない理由	29
21 放課後児童クラブの利用希望	30
22 保護者がより力を入れてほしい子育て支援策	32
23 小学生（高学年）が希望する子育て支援策	33

中学・高校生保護者

24 (1) 子育てに関する悩みや不安	34
24 (2) 子育てに関する悩みの内容	35
25 (1) 子どもの携帯電話の所持状況、使用のルール	36
25 (2) 子どもの携帯電話のフィルタリングサービス	37
26 子どもが放課後（平日）および休日に過ごす場所	38
27 保護者がより力を入れてほしい子育て支援策	39
28 中学・高校生が希望する子育て支援策	40

18歳以上40歳未満男女

29 結婚しているかどうか。独身者の結婚に対する考え	41
30 独身でいる理由	42
31 結婚への国・自治体の支援への考え	43
32 出産に対する考え	44
33 (1) 理想的な子どもの人数と持つつもりの子どもの人数	45
33 (2) 理想的な子どもの人数と持つつもりの子どもの人数に差が生じる理由	46

I. 調査の概要

1. 調査目的

本調査は、「元気発進！子どもプラン」の次期計画【平成27年～31年度】（「子ども・子育て支援事業計画」を含む）の策定にあたり、計画をより実効性のあるものとするため、家庭の状況や子育ての実態、保護者の意識などを把握することや、教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算定することを目的として実施した。

2. 調査対象

- ①就学前児童の保護者（調査票Aを配布） 5,000人
- ②就学前児童の保護者（調査票Bを配布） 3,000人
- ③小学生の保護者 3,000人
- ④中学・高校生の保護者 3,000人
- ⑤18歳以上40歳未満の男女 3,000人

※対象者は、住民基本台帳より無作為抽出。

3. 調査方法 郵送調査

4. 調査期間 平成25年10月11日～11月18日

5. 回収結果

	配布数	有効回収数	有効回収率
就学前児童の保護者（調査票Aを配布）	5,000	2,106	42.1%
就学前児童の保護者（調査票Bを配布）	3,000	1,453	48.4%
小学生の保護者	3,000	1,373	45.8%
中学・高校生の保護者	3,000	1,086	36.2%
18歳以上40歳未満の男女	3,000	832	27.7%
計	17,000	6,850	40.3%

6. 調査実施機関

調査企画：北九州市 子ども家庭局子ども家庭部子ども家庭政策課

集計分析：株式会社 東京商工リサーチ

7. 集計・分析上の注意事項

- ・ 図表においては、サンプル数を「N」で表記した。
- ・ 比率は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。また、複数回答の質問については、合計が100%を超える場合がある。

- ・ 「就学前A調査票」と「就学前B調査票」で同じ質問項目がある場合は、調査件数の多い「就学前A調査票」の数値を採用した。
- ・ 報告内容で、
 - 「就学前」とは就学前児童の保護者を対象とした調査結果
 - 「小学生」とは小学生の保護者を対象とした調査結果
 - 「中学・高校生」とは中学・高校生の保護者を対象とした調査結果を示している。

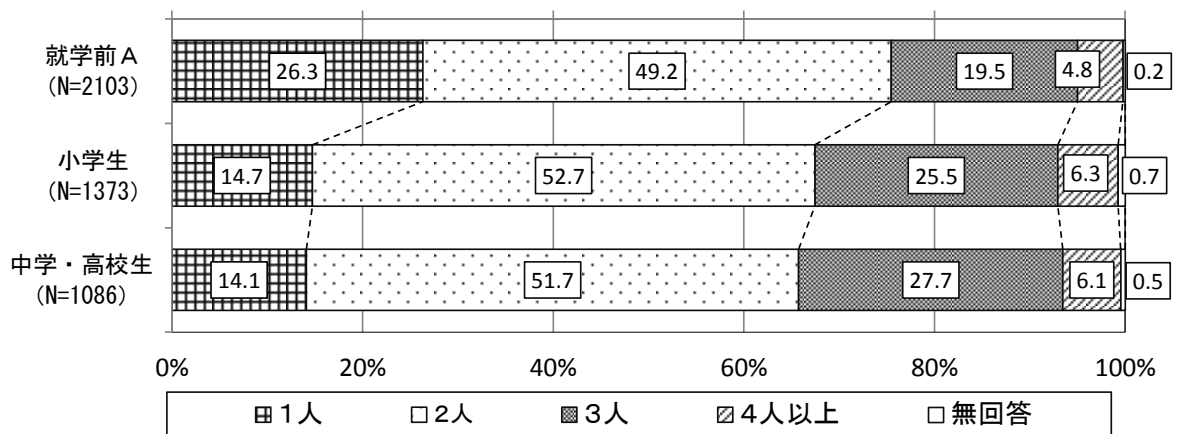
Ⅱ. 調査結果

就学前A・B、小学生、中学・高校生保護者共通

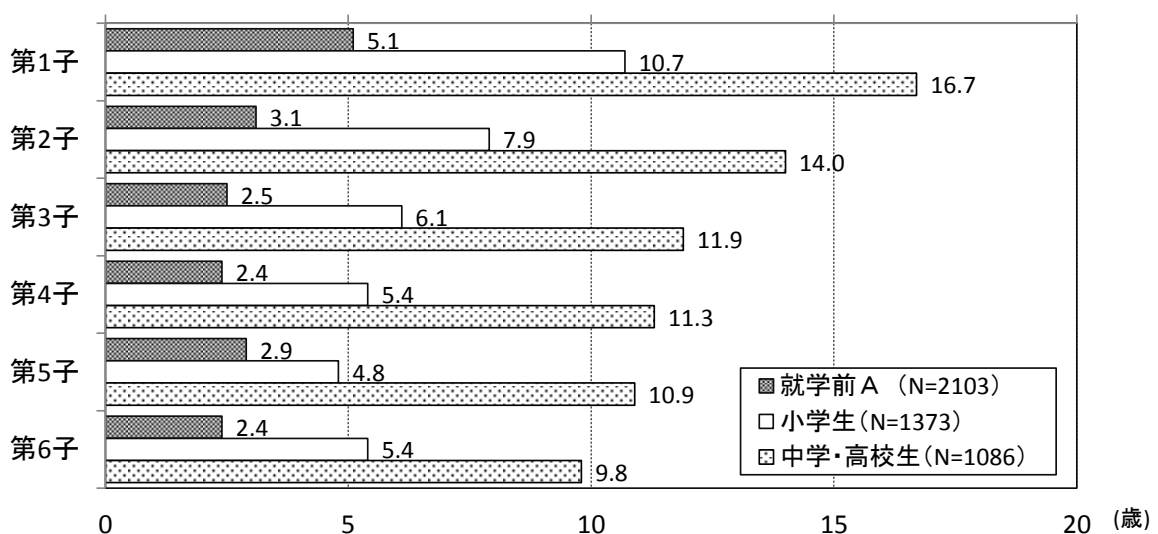
1 子どもの人数と平均年齢

- 子どもの人数は、
就学前では、「2人」「1人」「3人」の順に多い。
小学生、中学・高校生では、「2人」「3人」「1人」の順に多い。
- 子どもの平均年齢は、
「第1子」 就学前が5.1歳、小学生が10.7歳、中学・高校生が16.7歳
「第2子」 就学前が3.1歳、小学生が7.9歳、中学・高校生が14.0歳
「第3子」 就学前が2.5歳、小学生が6.1歳、中学・高校生が11.9歳

1-1 子どもの人数



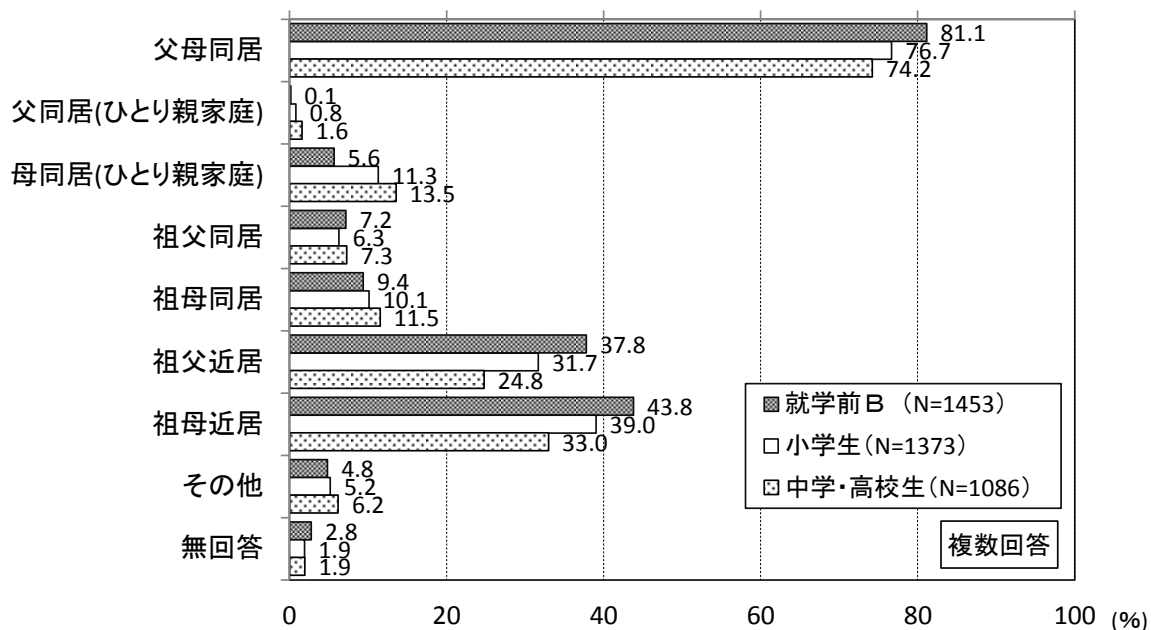
1-2 子どもの平均年齢



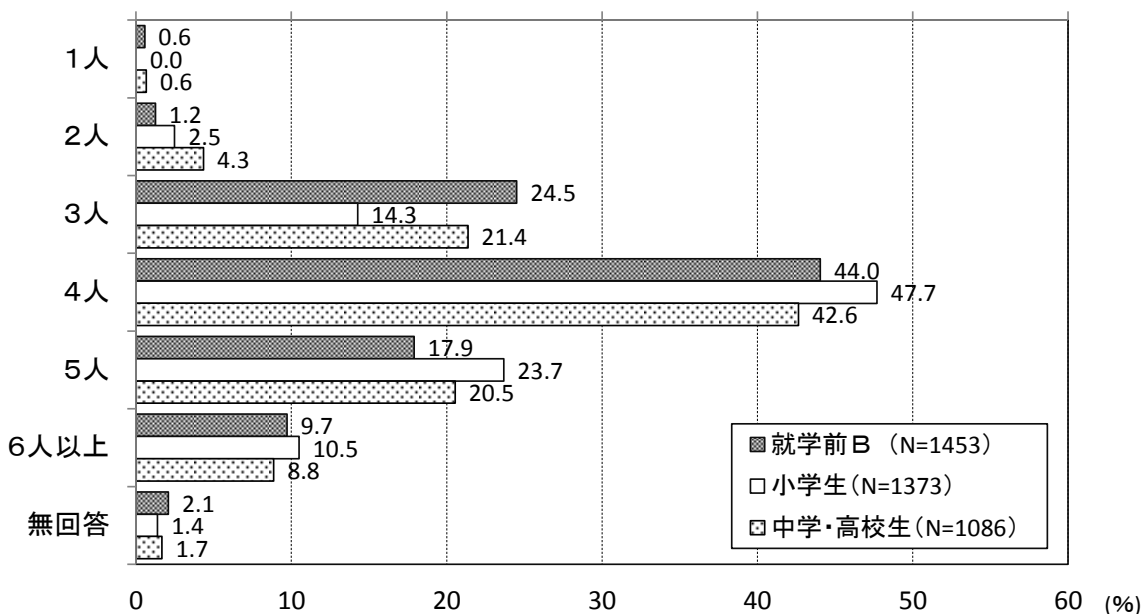
2 同居者の続柄

- 同居している家族の続柄で「父母同居」は、
就学前では81.1%、小学生では76.7%、中学・高校生では74.2%
- 同居者の人数は、
就学前、中学・高校生では、「4人」「3人」「5人」の順に多い。
小学生では、「4人」「5人」「3人」の順に多い。

2-1 同居者の続柄



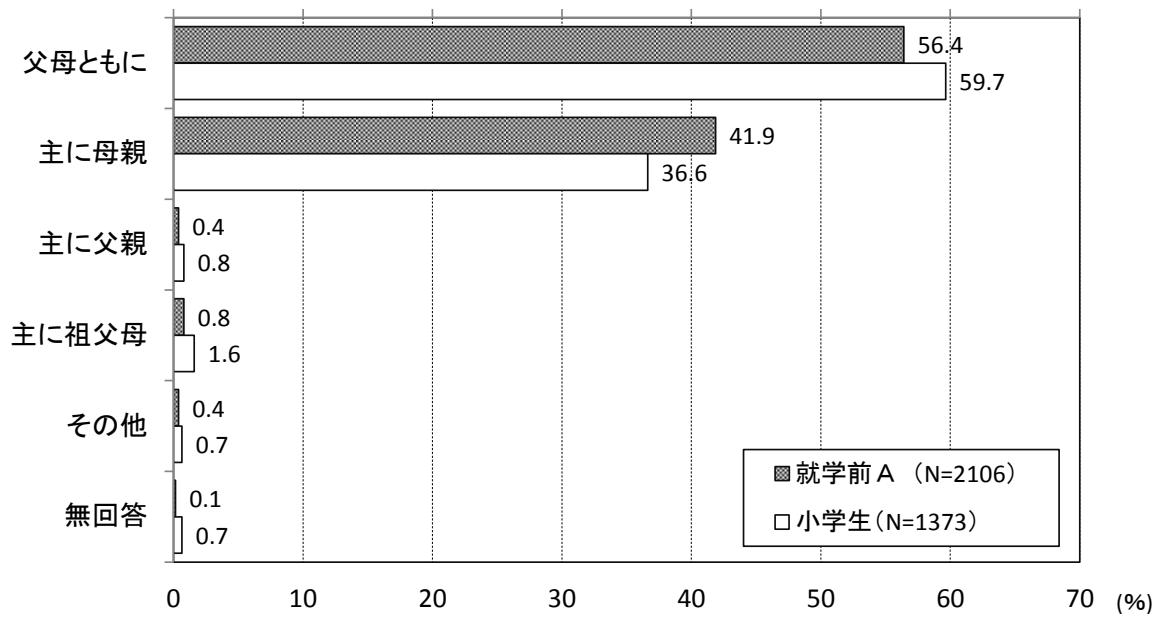
2-2 同居者の人数



3 子育て（教育を含む）を主に行っている人

●子育て(教育を含む)を主に行っている人は、
 就学前では、「父母ともに」56.4%、「主に母親」41.9%
 小学生では、「父母ともに」59.7%、「主に母親」36.6%

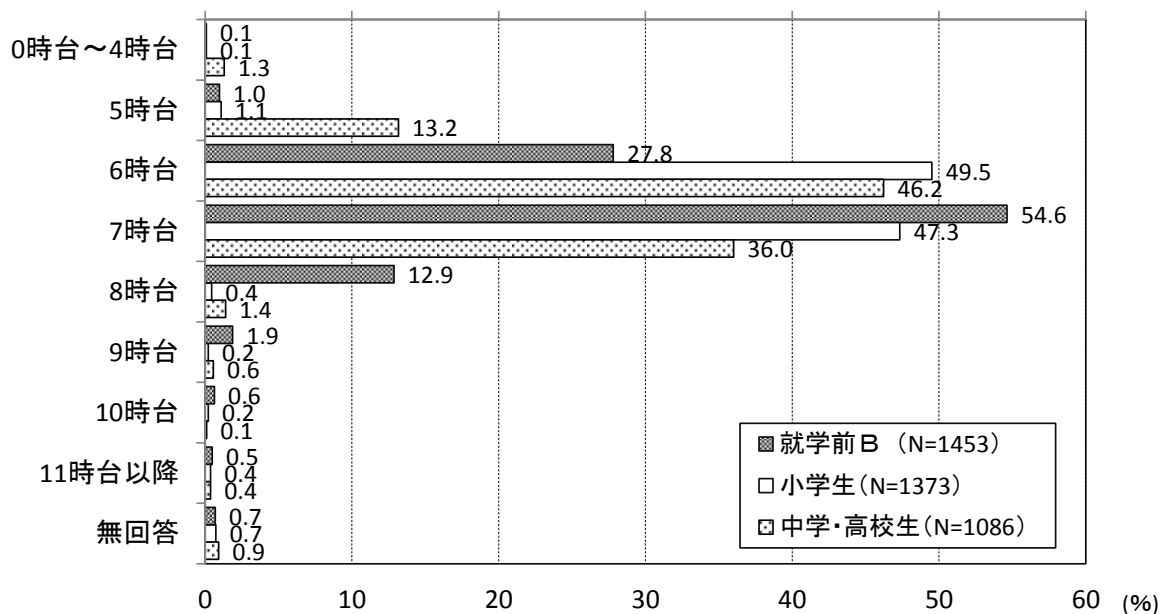
3 子育て(教育を含む)を主に行っている人



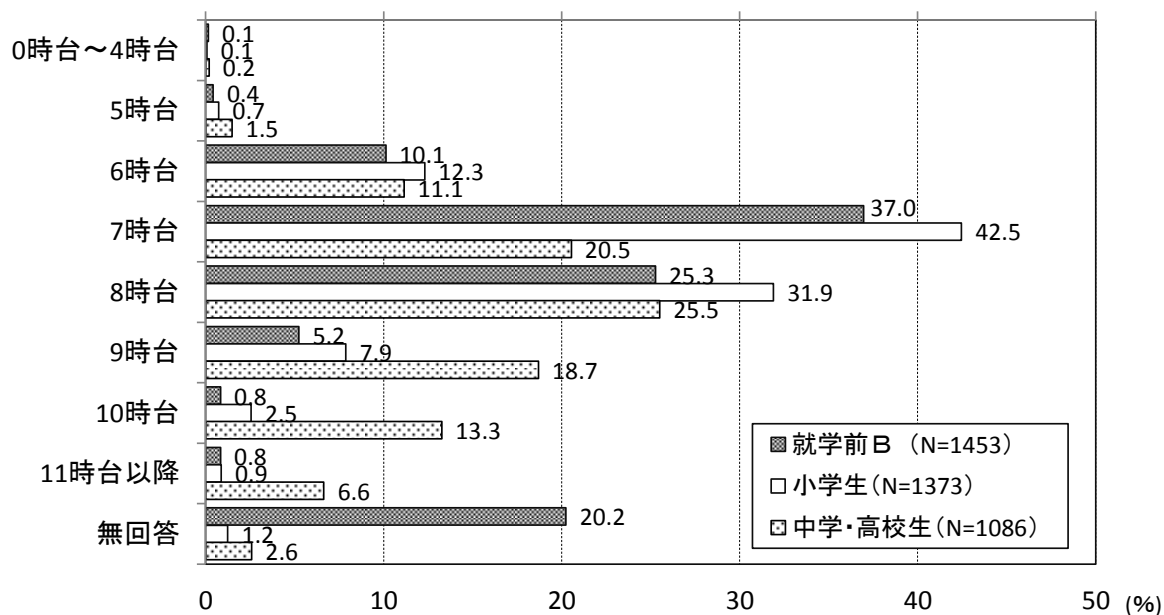
4(1) 子どもの起床時刻

- 子どもの起床時刻(平日)で最も多いのは、
就学前では「7時台」が54.6%、小学生では「6時台」が49.5%
中学・高校生では「6時台」が46.2%
- 子どもの起床時刻(保育所や幼稚園、学校がない日)で最も多いのは、
就学前では「7時台」が37.0%、小学生では「7時台」が42.5%
中学・高校生では「8時台」が25.5%

4-1 子どもの起床時刻(平日)



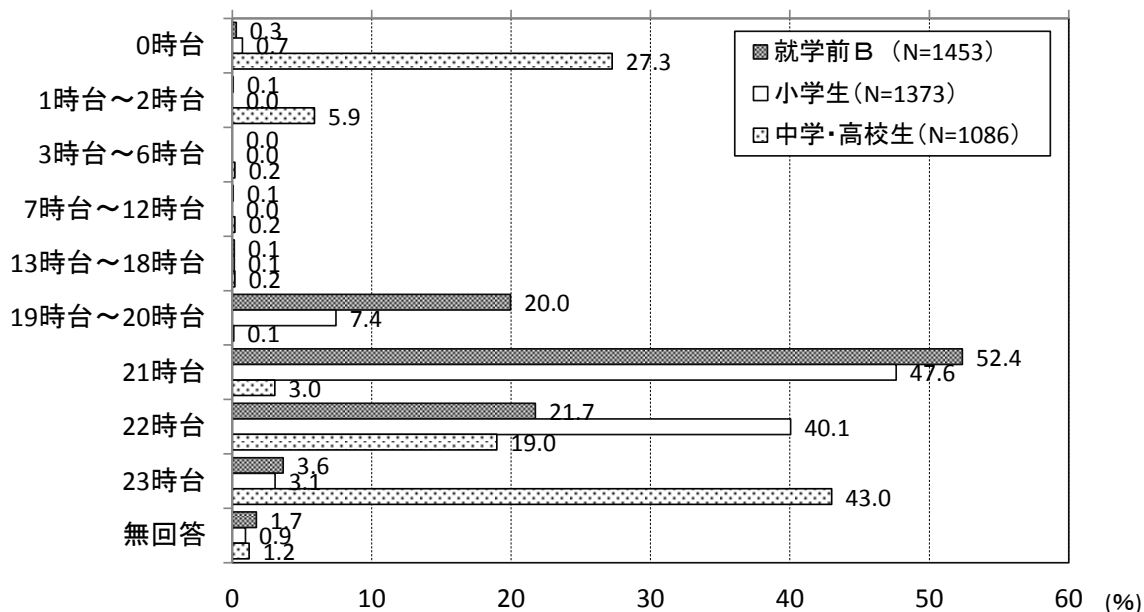
4-2 子どもの起床時刻(保育所や幼稚園、学校がない日)



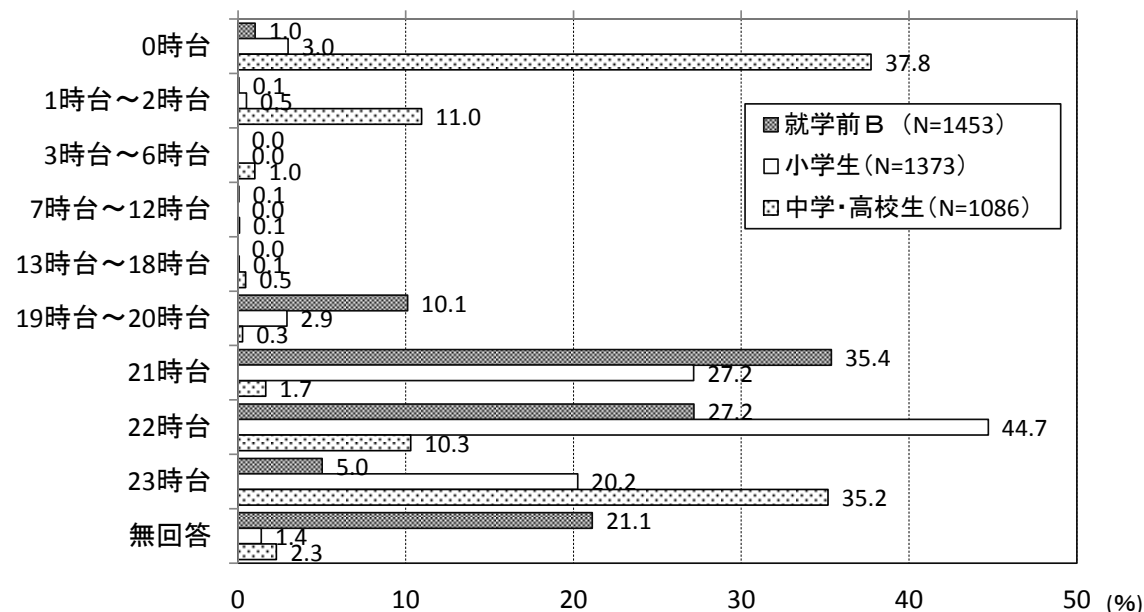
4(2) 子どもの就寝時刻

- 子どもの就寝時刻(平日)で最も多いのは、
就学前では「21 時台」が 52.4%、小学生では「21 時台」が 47.6%
中学・高校生では「23 時台」が 43.0%
- 子どもの就寝時刻(翌日保育所や幼稚園、学校がない日)で最も多いのは、
就学前では「21 時台」が 35.4%、小学生では「22 時台」が 44.7%
中学・高校生では「0 時台」が 37.8%

4-3 子どもの就寝時刻(平日)



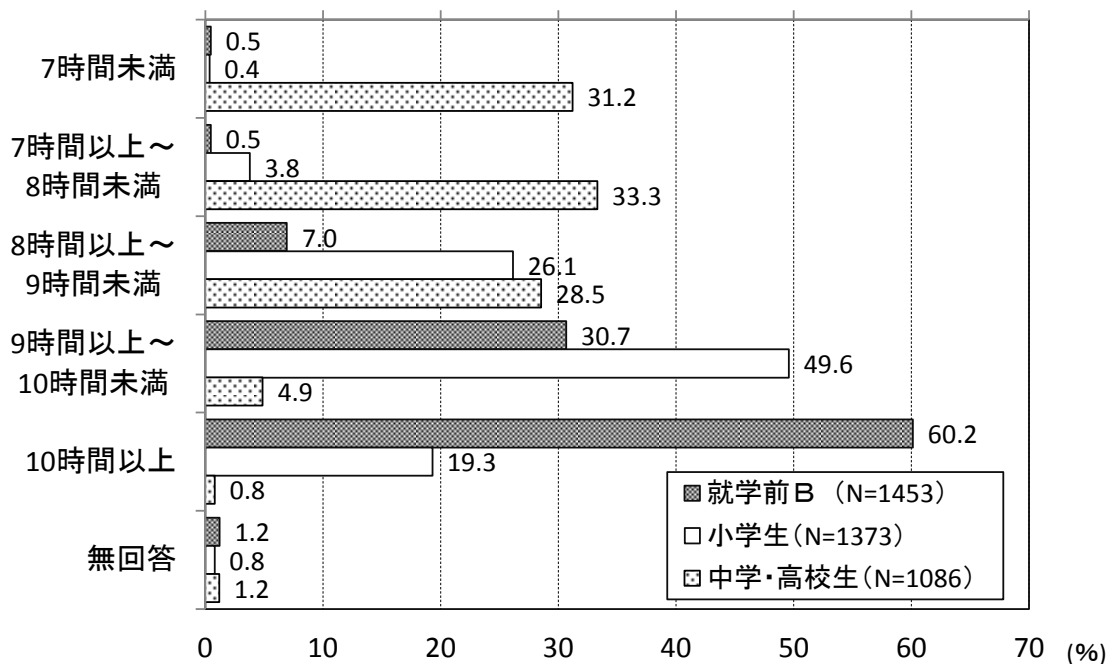
4-4 子どもの就寝時刻(翌日保育所や幼稚園、学校がない日)



4(3) 子どもの平均睡眠時間

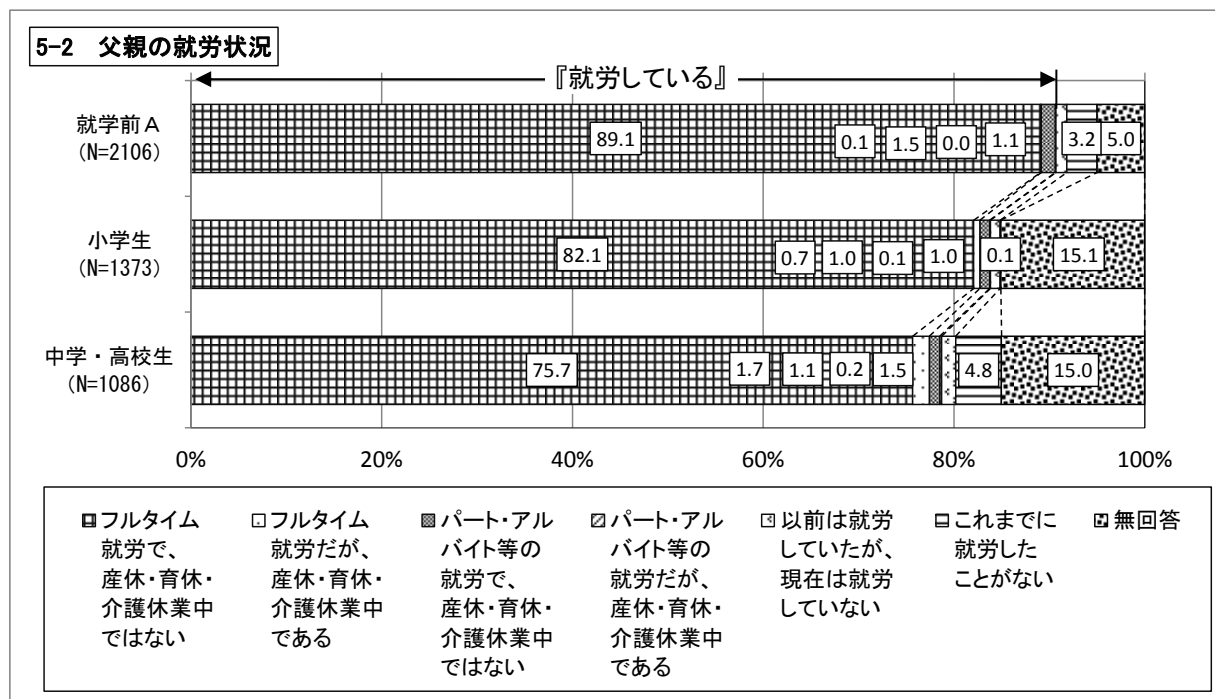
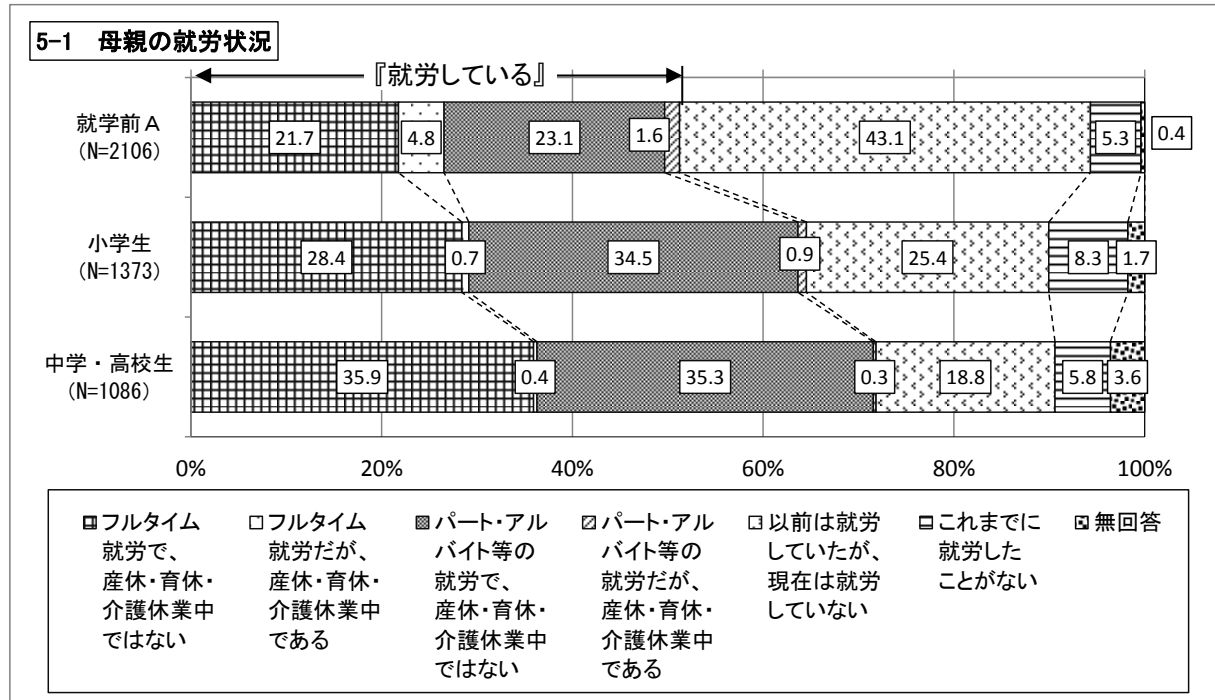
- 子どもの平均睡眠時間で最も多いのは、
就学前では、「10時間以上」が60.2%
小学生では、「9時間以上～10時間未満」が49.6%
中学生では、「7時間以上～8時間未満」が33.3%

4-5 子どもの平均睡眠時間



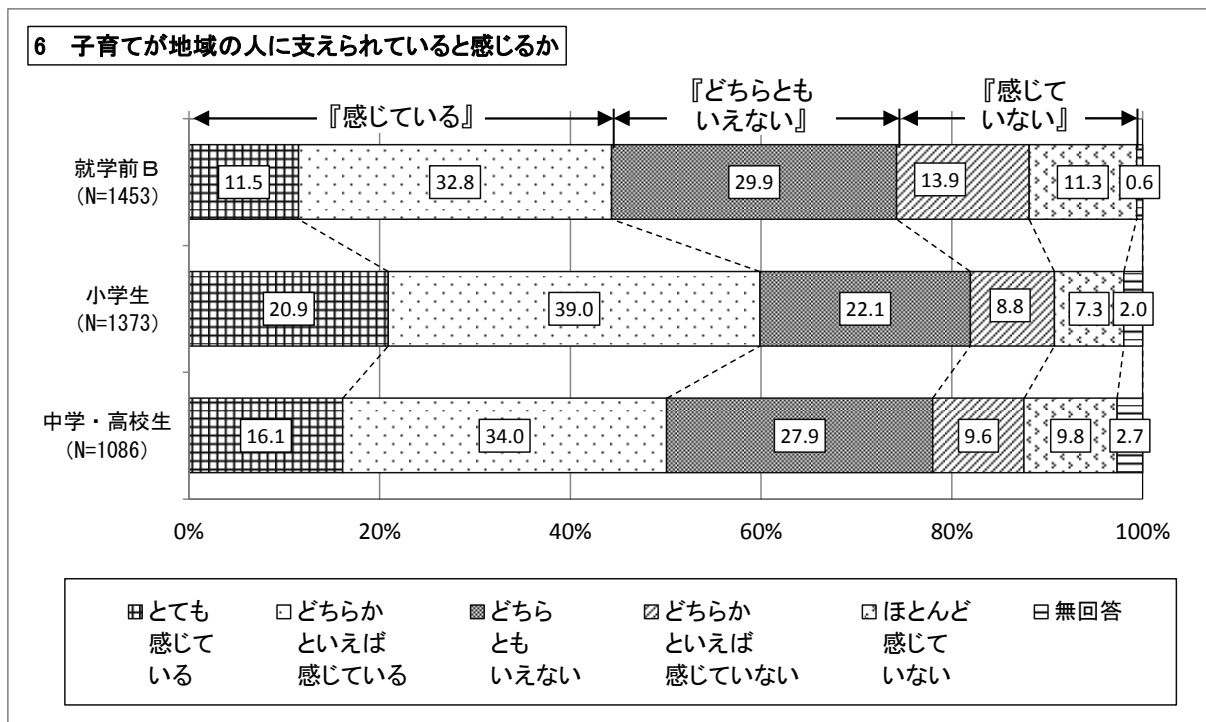
5 保護者の就労状況

- 母親の就労状況で『就労している』は、
就学前では 51.2%、小学生では 64.5%、中学・高校生では 71.9%
- 父親の就労状況で『就労している』は、
就学前では 90.7%、小学生では 83.9%、中学・高校生では 78.7%



6 子育てが地域の人に支えられていると感じるか

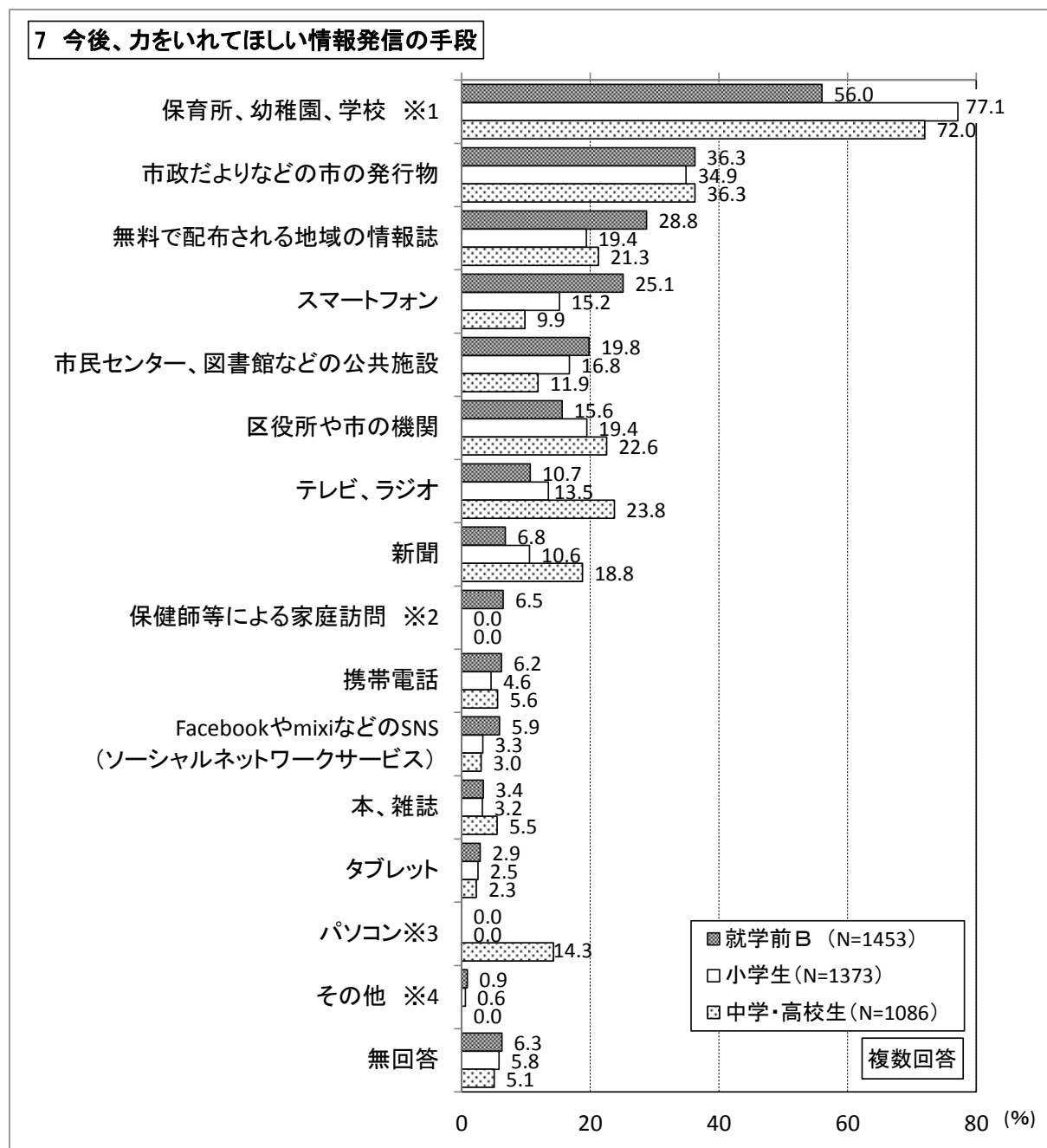
- 子育てが地域の人に支えられていると『感じている』のは、
就学前では 44.3%、小学生では 59.9%、中学・高校生では 50.1%
- 子育てが地域の人に支えられていると『感じていない』のは、
就学前では 25.2%、小学生では 16.1%、中学・高校生では 19.4%



- ・「どちらともいえない」と感じる人は、就学前では 29.9%、小学生では 22.1%、中学・高校生では 27.9%となっている。

7 今後、力を入れてほしい情報発信の手段

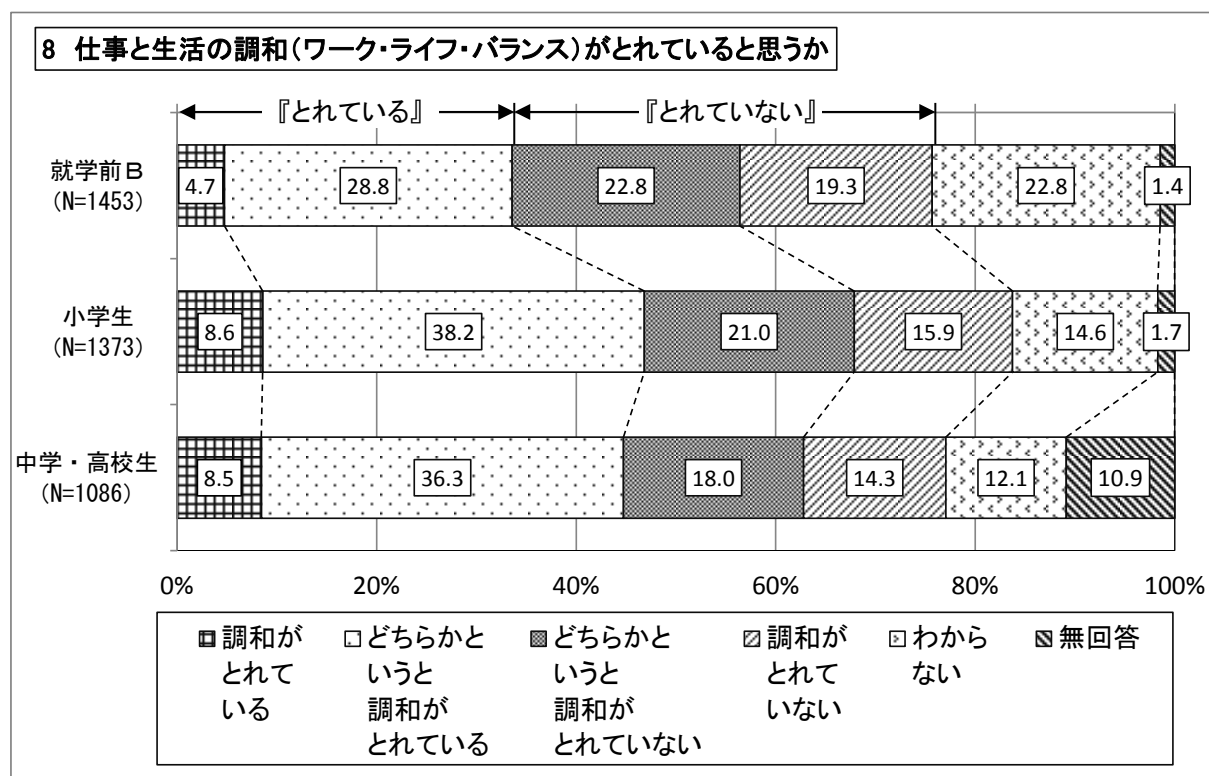
- 今後、力を入れてほしい情報発信の手段は、就学前、小学生、中学・高校生では、
 1位 「保育所、幼稚園、学校」
 2位 「市政だよりなどの市の発行物」
 3位 「無料で配布される地域の情報誌」または「テレビ、ラジオ」



※1. 就学前は「保育所、幼稚園」、小学生および中学・高校生は「学校」を選択肢としている。
 ※2. 「保健師等による家庭訪問」は就学前のみ。
 ※3. 「パソコン」は中学・高校生のみ。
 ※4. 「その他」は就学前と小学生のみ。

8 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれていると思うか

●仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）が、『とれている』と思っている保護者の割合は、
 就学前では 33.5%、小学生では 46.8%、中学・高校生では 44.8%
 『とれていない』と思っている保護者の割合は、
 就学前では 42.1%、小学生では 36.9%、中学・高校生では 32.3%

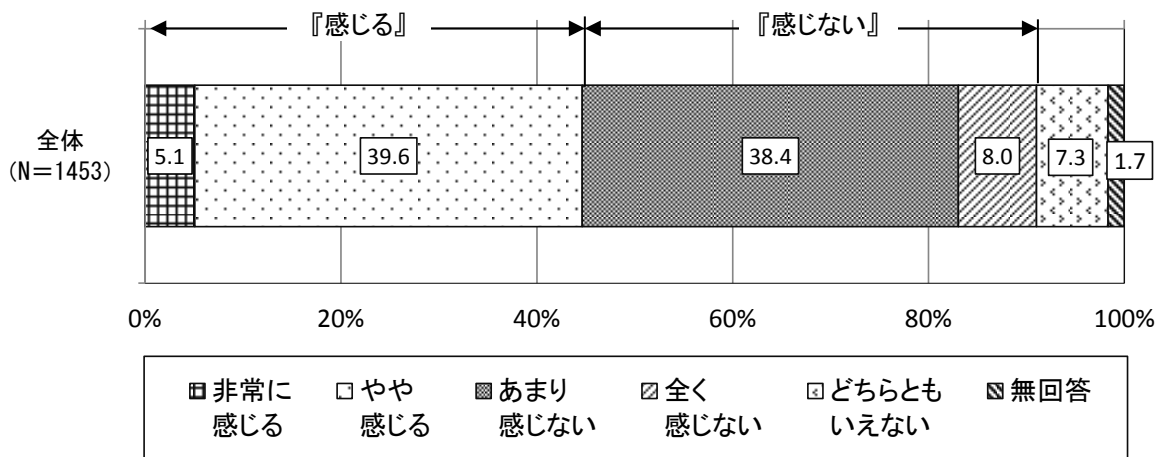


就学前A・B保護者

9(1) 子育てに関する悩みや不安

●子育てに関して悩みや不安を、
 『感じる』が 44.7%
 『感じない』が 46.4%

9-1 子育てに関する悩みや不安



9(2) 子育てに関する悩みの内容

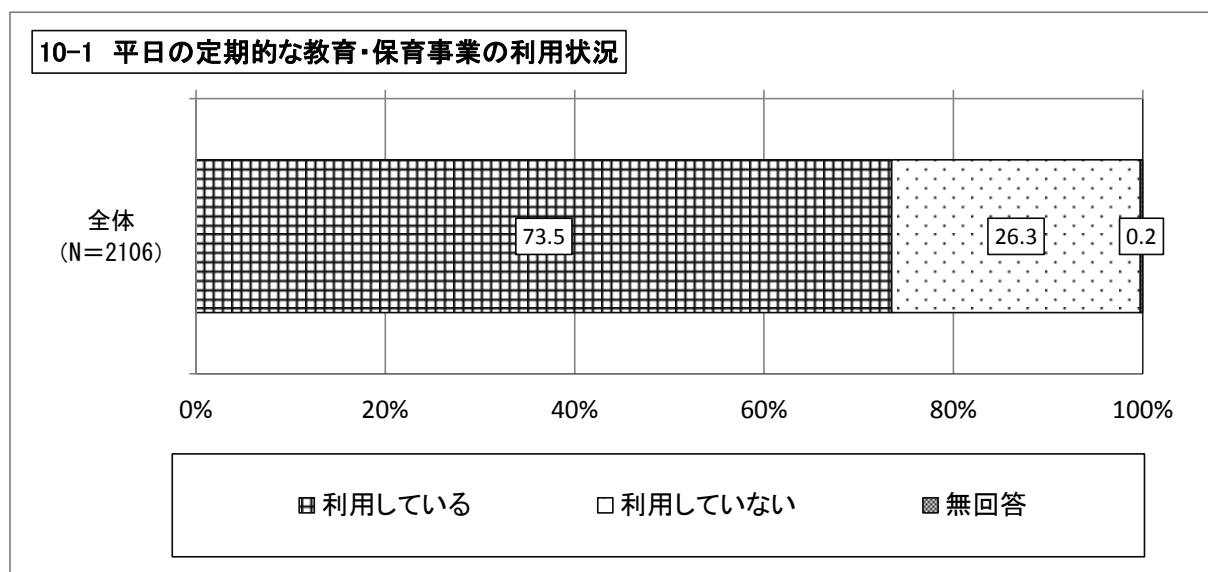
- 子育てに関して、悩んでいることや気になることは、
- 1位 「子どもを叱りすぎているような気がすること」 42.5%
 - 2位 「食事や栄養に関すること」 40.4%
 - 3位 「病気や発育・発達に関すること」 33.5%

9-2 子育てに関する悩みの内容



10(1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

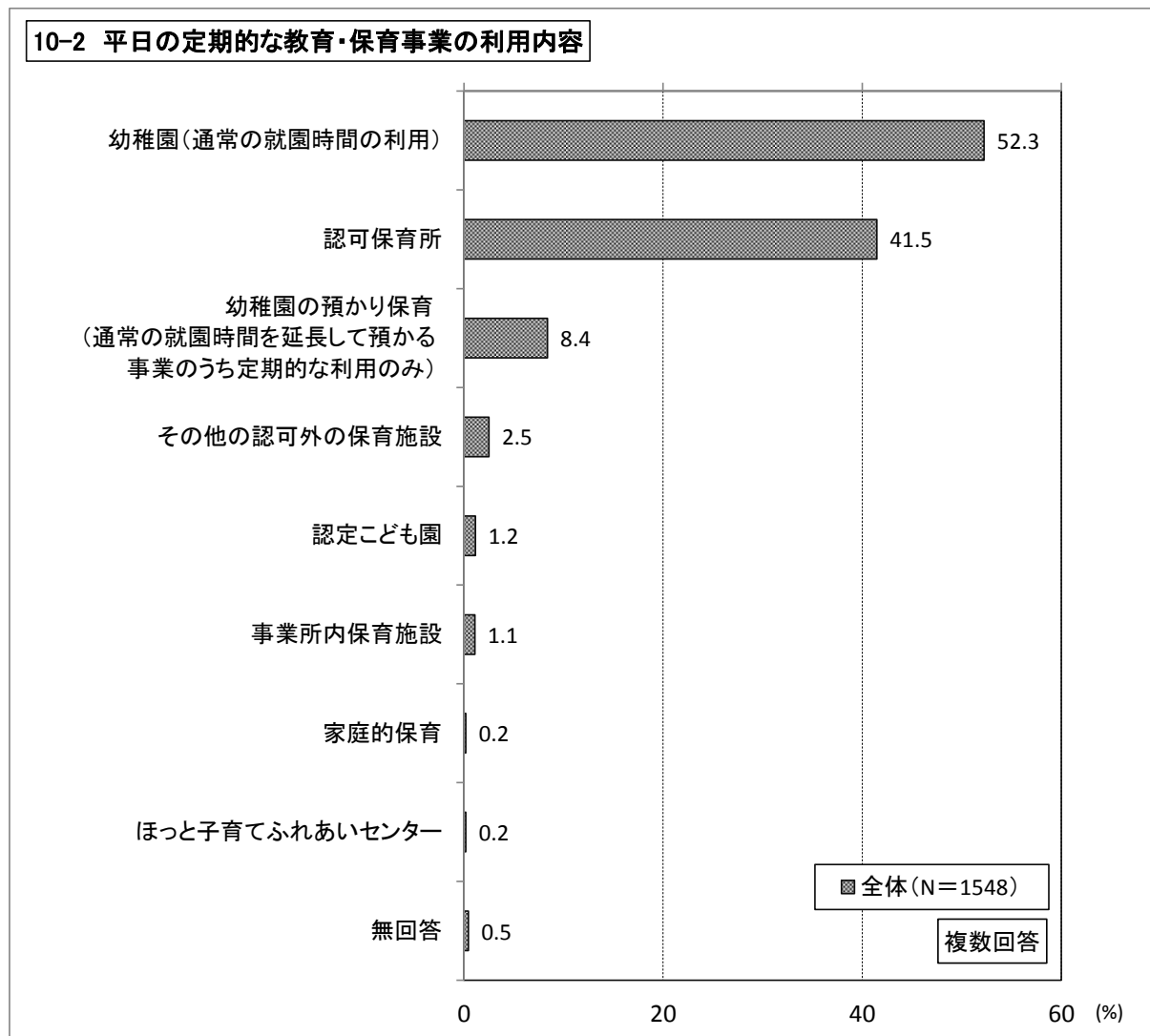
- 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況は、
「利用している」が 73.5%
「利用していない」が 26.3%



(注) 「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、次ページ 10(2)に示した事業が含まれます。

10(2) 平日の定期的な教育・保育事業の利用内容

- 平日の定期的な教育・保育事業の利用内容は、
- 1位 幼稚園(通常の就園時間の利用) 52.3%
 - 2位 認可保育所 41.5%
 - 3位 幼稚園の預かり保育 8.4%
- (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)



※認可保育所…国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの

※幼稚園の預かり保育…通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ

※認定こども園…幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設

※事業所内保育施設…企業が主に従業員用に運営する施設

※家庭的保育…保育者の家庭等で子どもを保育する事業

※ほっと子育てふれあいセンター…地域住民が子どもを預かる事業

11(1) 利用施設の満足度（幼稚園）

●現在利用している幼稚園に対して、

『満足』は、1位 「安全対策」 92.8%

2位 「病気やケガの時の対応」 92.2%

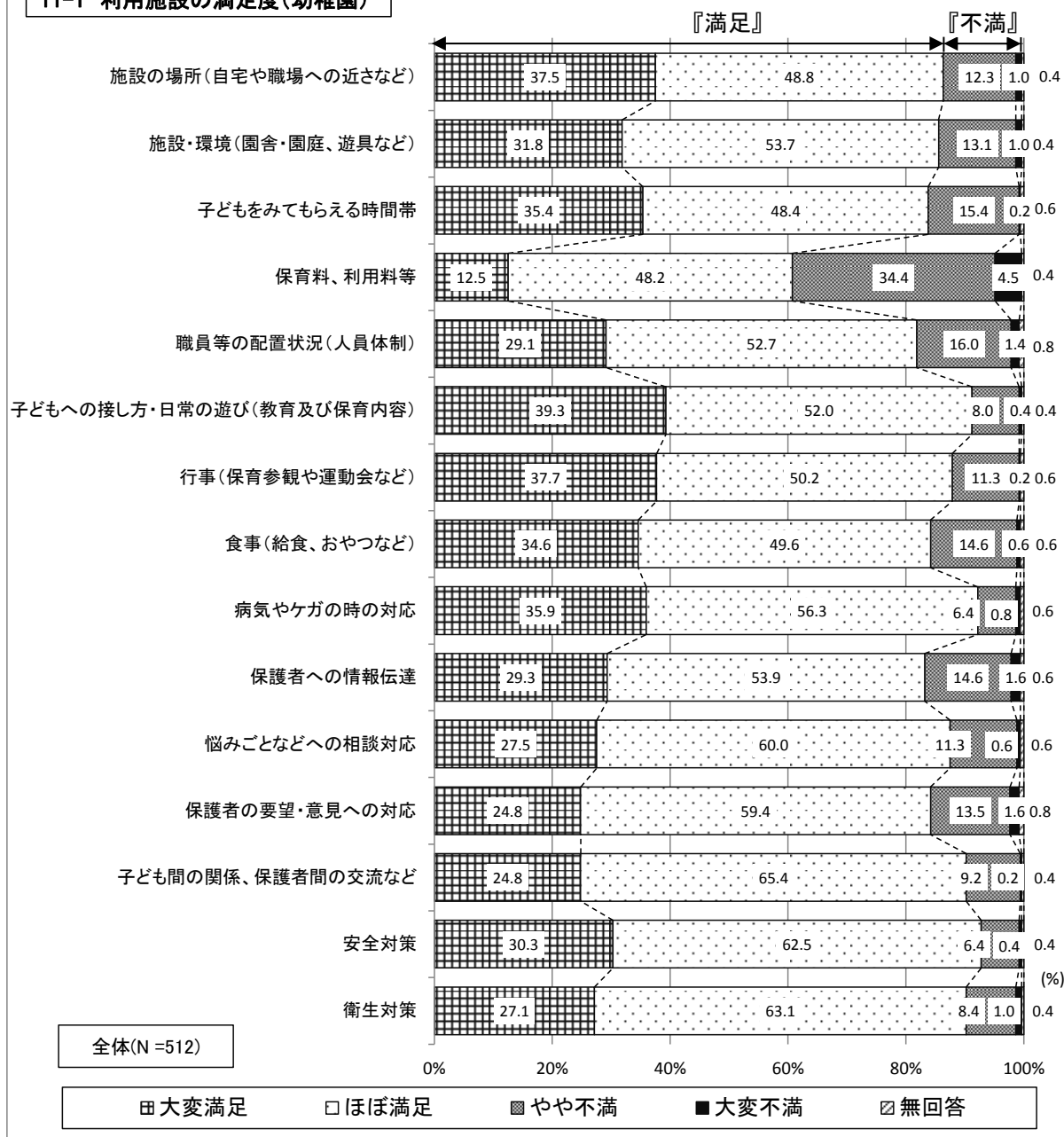
3位 「子どもへの接し方・日常の遊び(教育及び保育内容)」 91.3%

『不満』は、1位 「保育料、利用料等」 38.9%

2位 「職員等の配置状況(人員体制)」 17.4%

3位 「保護者への情報伝達」 16.2%

11-1 利用施設の満足度(幼稚園)



・「大変満足」と「ほぼ満足」を合わせた『満足』が、15項目中14項目で8割を超えており、一定の評価を受けている。

11(2) 利用施設の満足度（認可保育所）

●現在利用している認可保育所に対して、

『満足』は、1位「食事(給食、おやつなど)」 94.3%

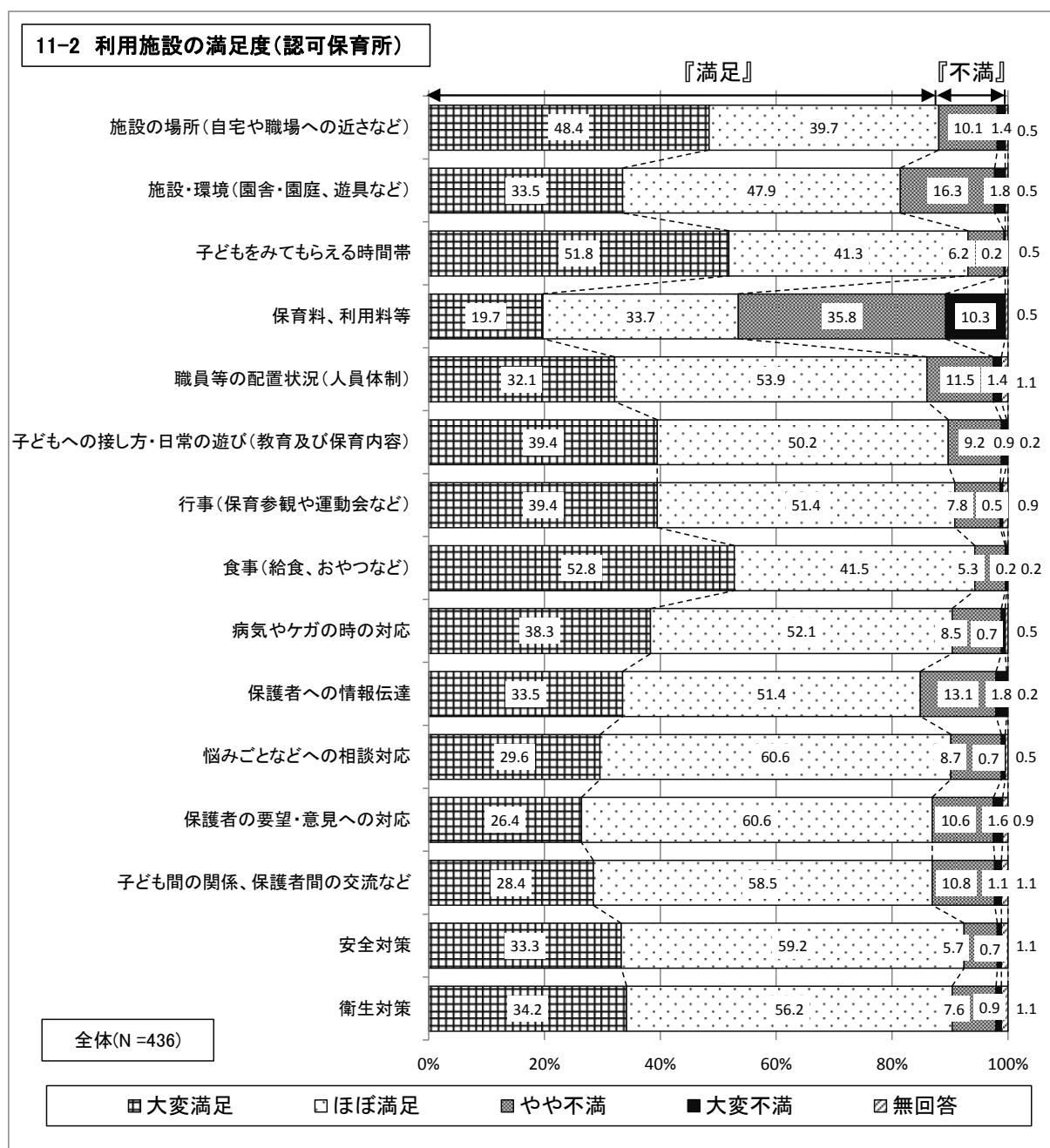
2位「子どもをみてもらえる時間帯」 93.1%

3位「安全対策」 92.5%

『不満』は、1位「保育料、利用料等」 46.1%

2位「施設・環境(園舎・園庭、遊具など)」 18.1%

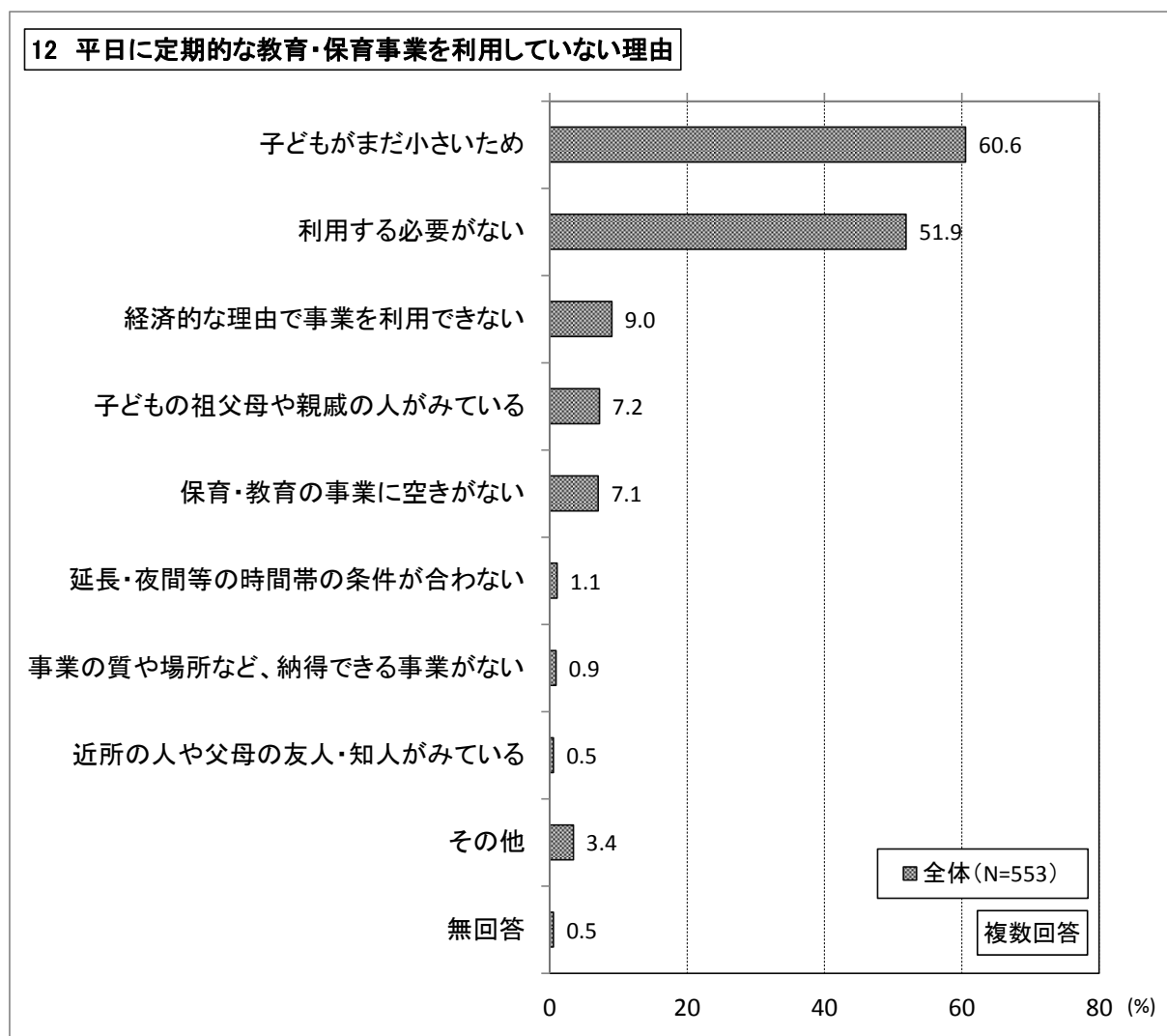
3位「保護者への情報伝達」 14.9%



・「大変満足」と「ほぼ満足」を合わせた『満足』が、15項目中14項目で8割を超えており、一定の評価を受けている。

12 平日に定期的な教育・保育事業を利用していない理由

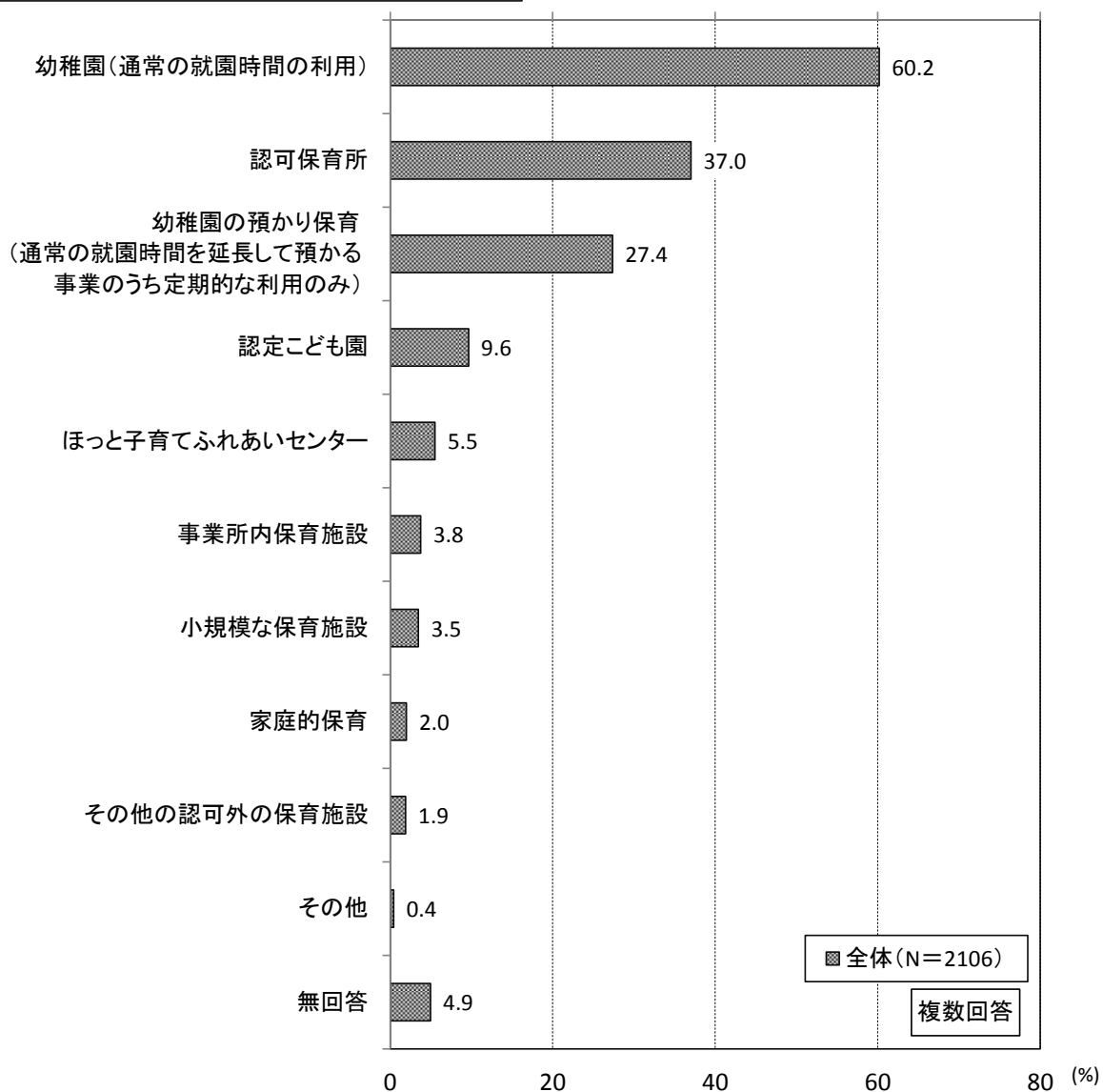
- 平日に定期的な教育・保育事業を利用していない理由は、
- 1位 「子どもがまだ小さいため」 60.6%
 - 2位 「利用する必要がない」 51.9%
 - 3位 「利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない」 9.0%



13 平日の定期的な教育・保育事業の利用希望

- 平日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、
- 1位 幼稚園(通常の就園時間の利用) 60.2%
 - 2位 認可保育所 37.0%
 - 3位 幼稚園の預かり保育 27.4%
(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)

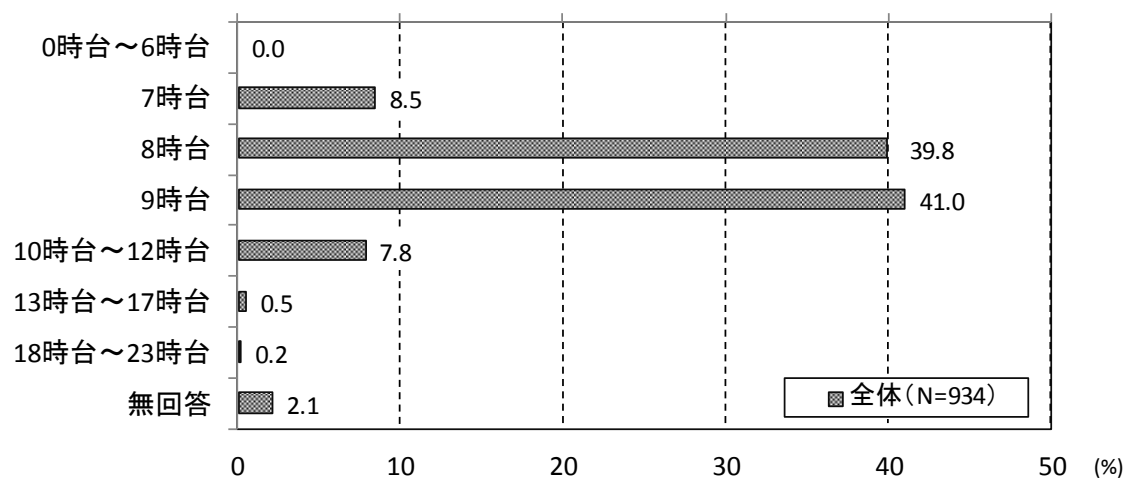
13 平日の定期的な教育・保育事業の利用希望



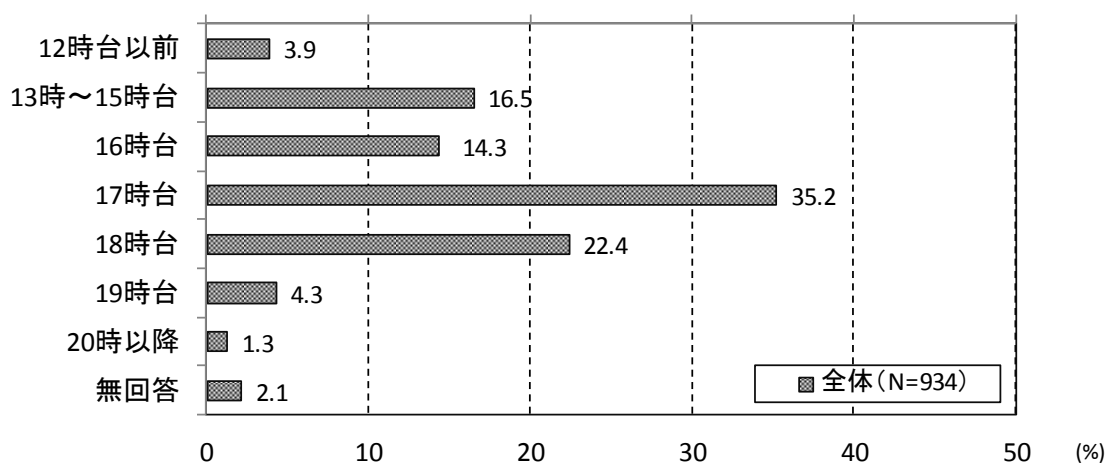
14(1) 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望

- 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、
「月に1～2回は利用したい」が 25.3%、「ほぼ毎日利用したい」が 19.1%
「利用する必要はない」が 53.2%
- 利用希望時間で最も多いのは、
開始時間が「9 時台」で 41.0%、終了時間が「17 時台」で 35.2%

14-1 土曜日の定期的な教育・保育事業の希望開始時間



14-2 土曜日の定期的な教育・保育事業の希望終了時間

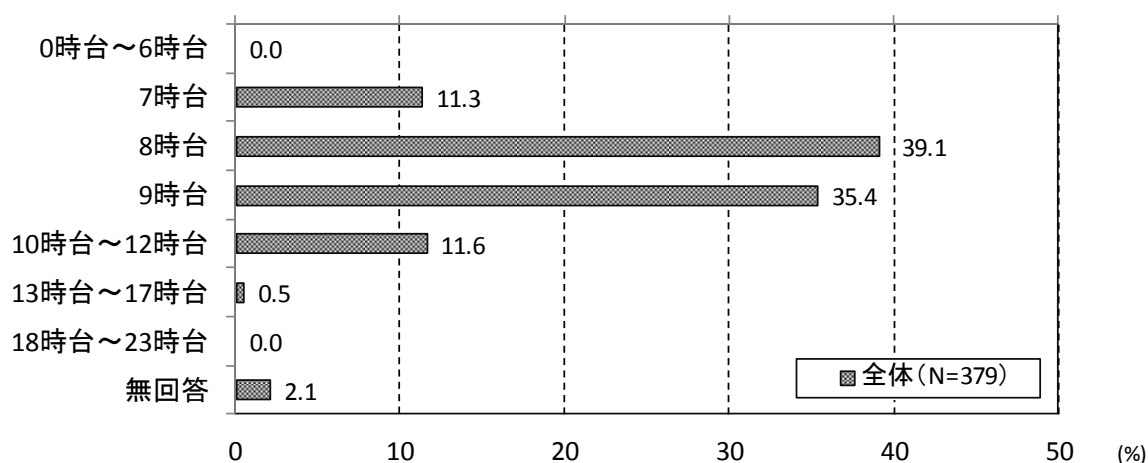


- ・希望する開始時間は、「9 時台」が最も多く、次いで「8 時台」が 39.8%となっている。
- ・終了時間は、「17 時台」が最も多く、次いで「18 時台」が 22.4%となっている。

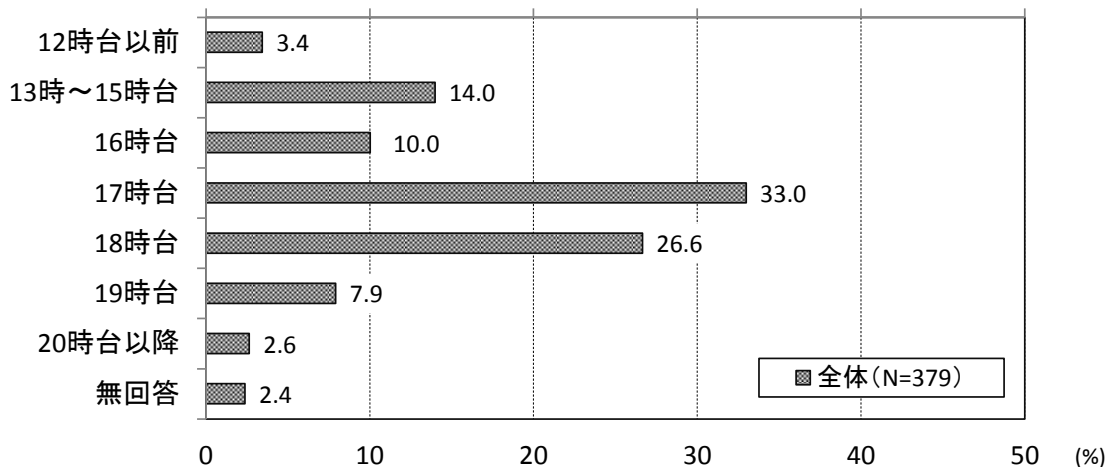
14(2) 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

- 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、
「月に1～2回は利用したい」が16.2%、「ほぼ毎日利用したい」が1.8%
「利用する必要はない」が78.9%
- 利用希望時間で最も多いのは、
開始時間が「8時台」で39.1%、終了時間が「17時台」で33.0%

14-3 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の希望開始時間



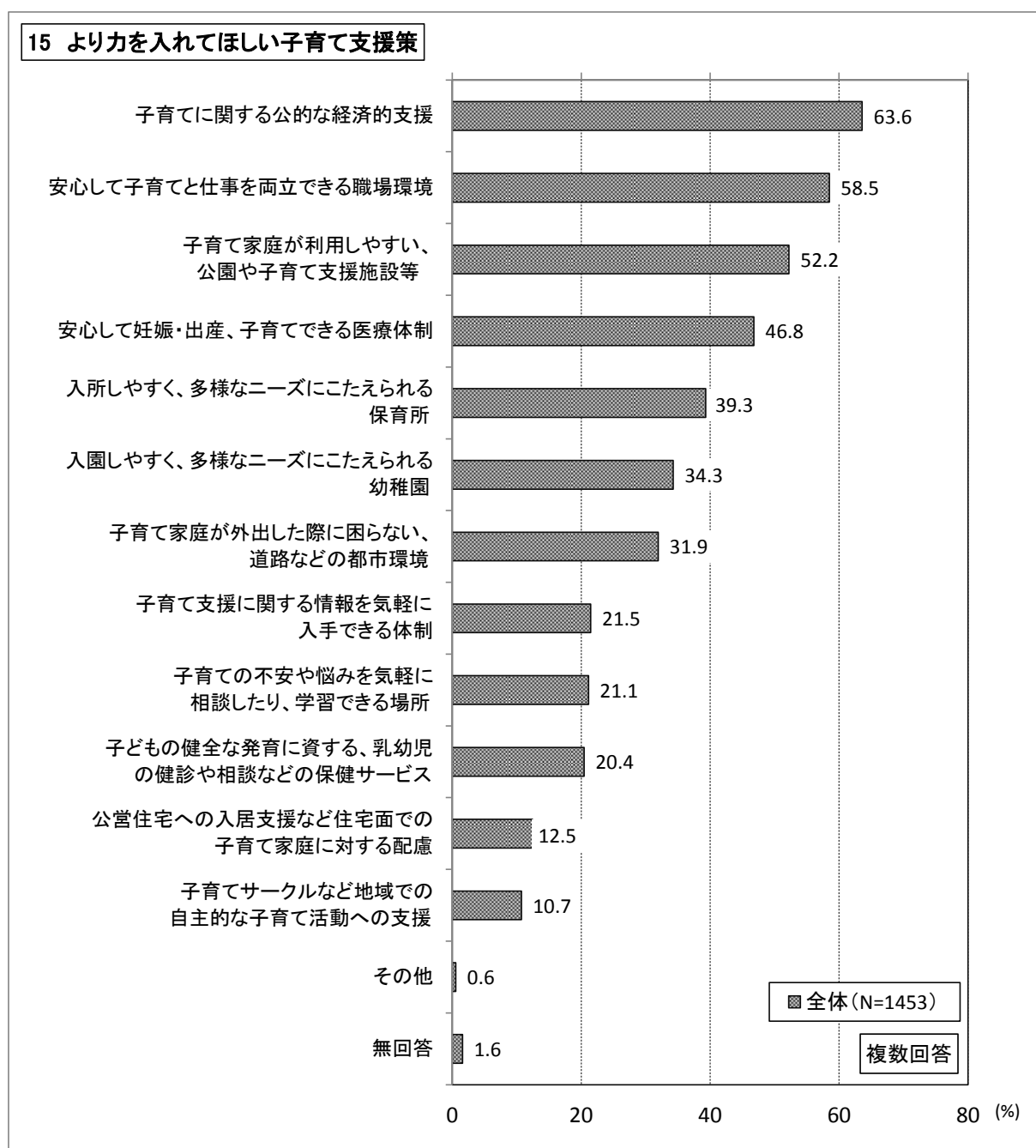
14-4 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の希望終了時間



- ・希望する開始時間は、「8時台」が最も多く、次いで「9時台」が35.4%となっている。
- ・終了時間は、「17時台」が最も多く、次いで「18時台」が26.6%となっている。

15 より力を入れてほしい子育て支援策

- より力を入れてほしい子育て支援策は、
- 1位 「子育てに関する公的な経済的支援」 63.6%
 - 2位 「安心して子育てと仕事を両立できる職場環境」 58.5%
 - 3位 「子育て家庭が利用しやすい、公園や子育て支援施設等」 52.2%

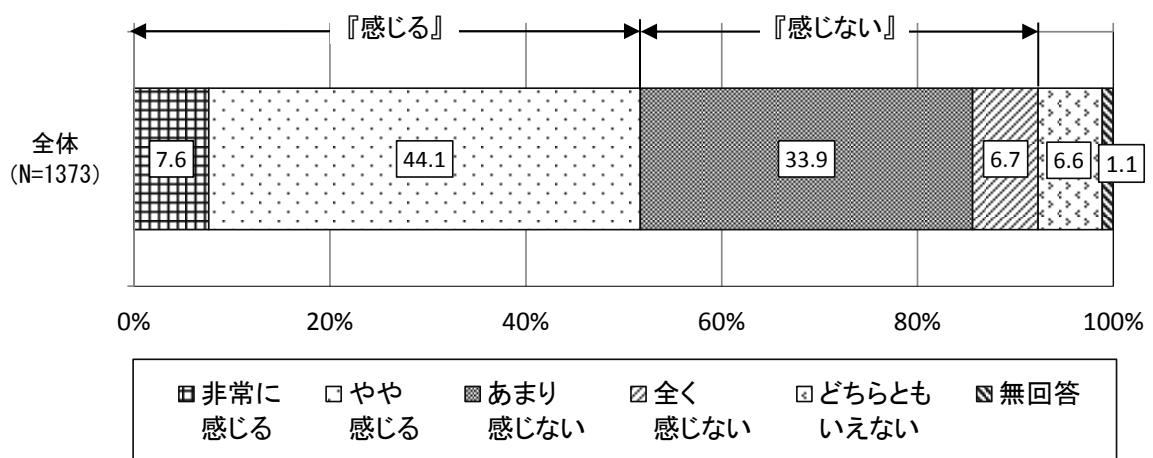


小学生保護者

16(1) 子育てに関する悩みや不安

●子育てに関して悩みや不安を、
『感じる』が 51.7%
『感じない』が 40.6%

16-1 子育てに関する悩みや不安



16(2) 子育てに関する悩みの内容

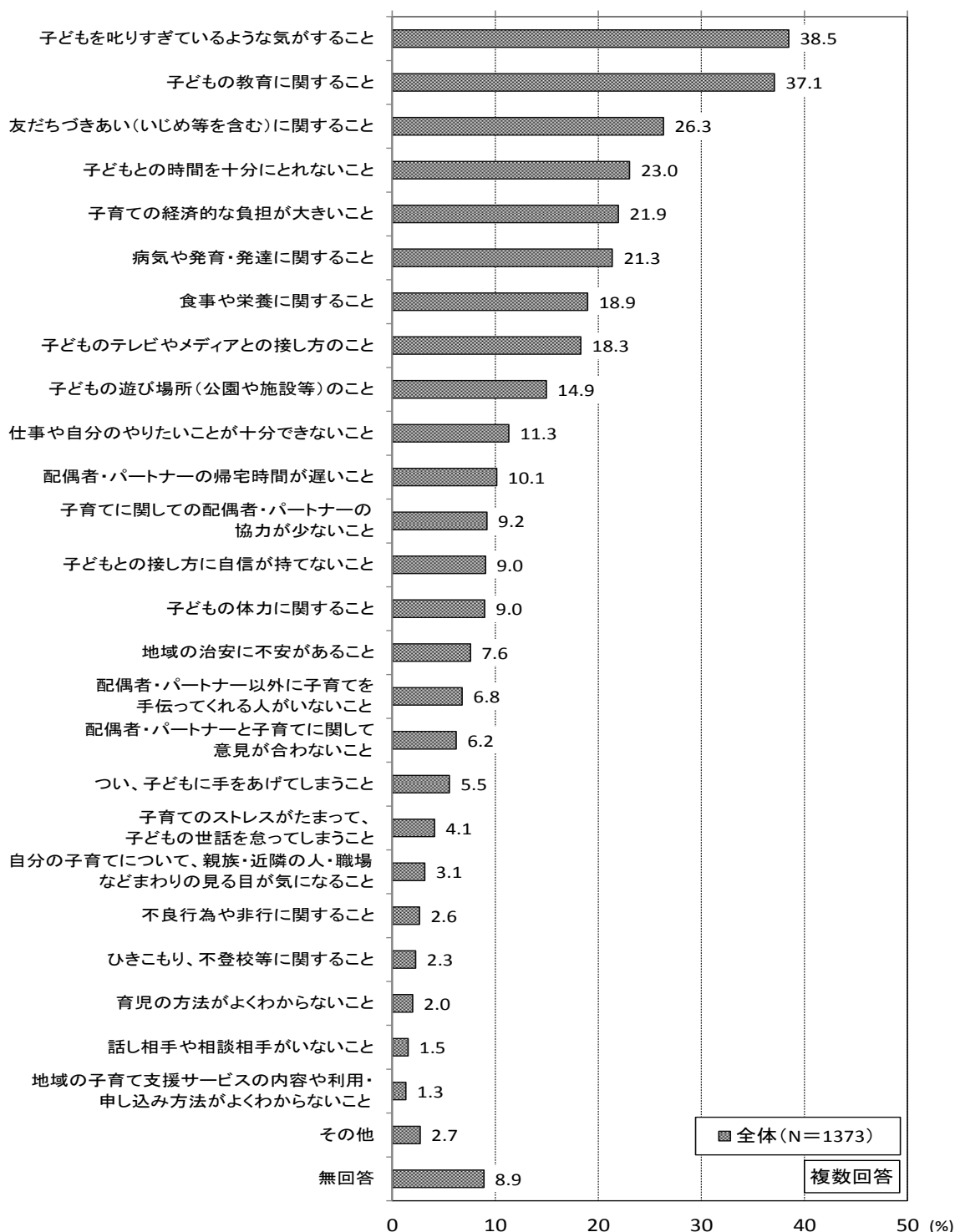
●子育てに関して、悩んでいることや気になることは、

1位 「子どもを叱りすぎているような気がする事」 38.5%

2位 「子どもの教育に関する事」 37.1%

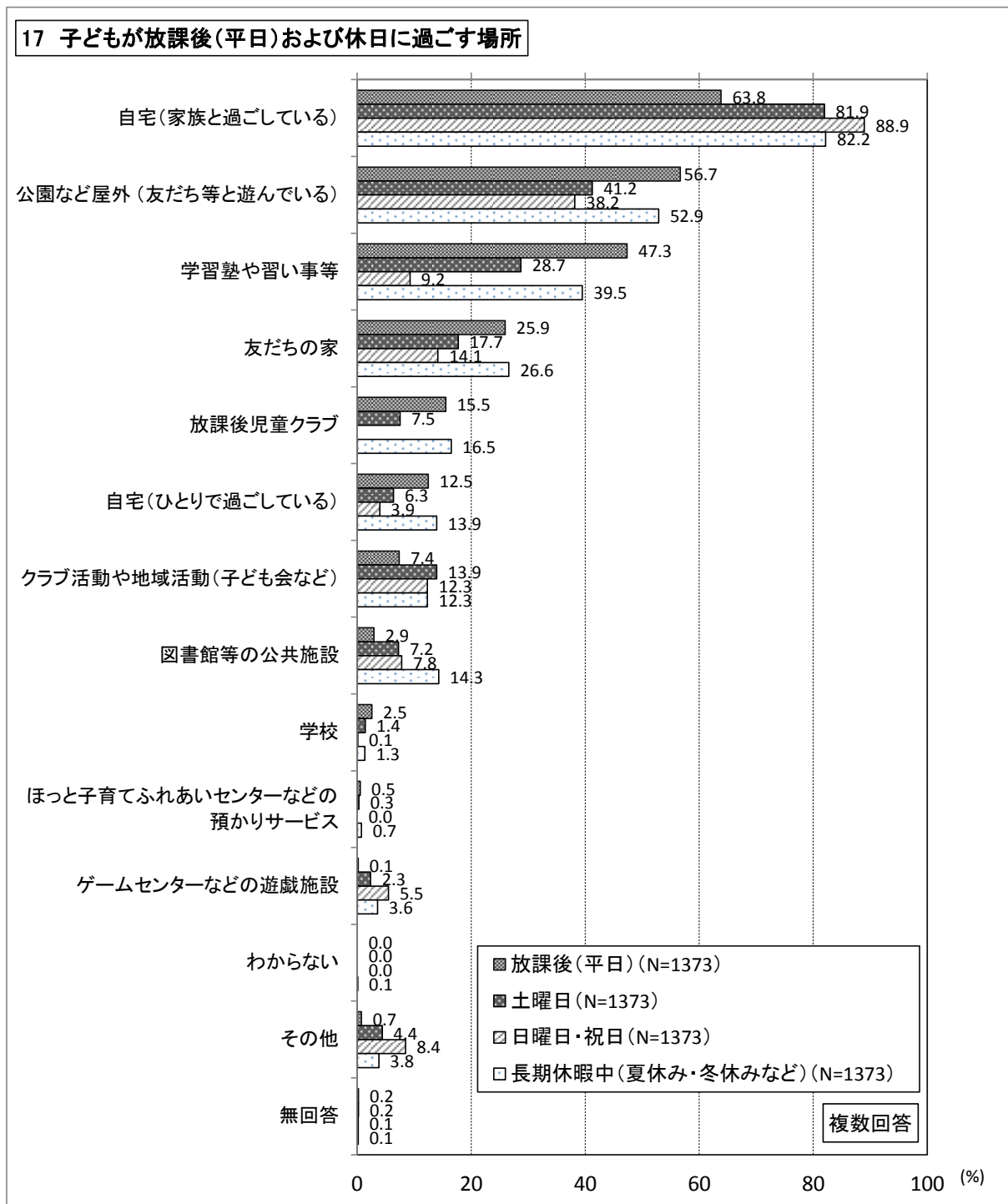
3位 「友だちづきあい(いじめ等を含む)に関する事」 26.3%

16-2 子育てに関する悩みの内容



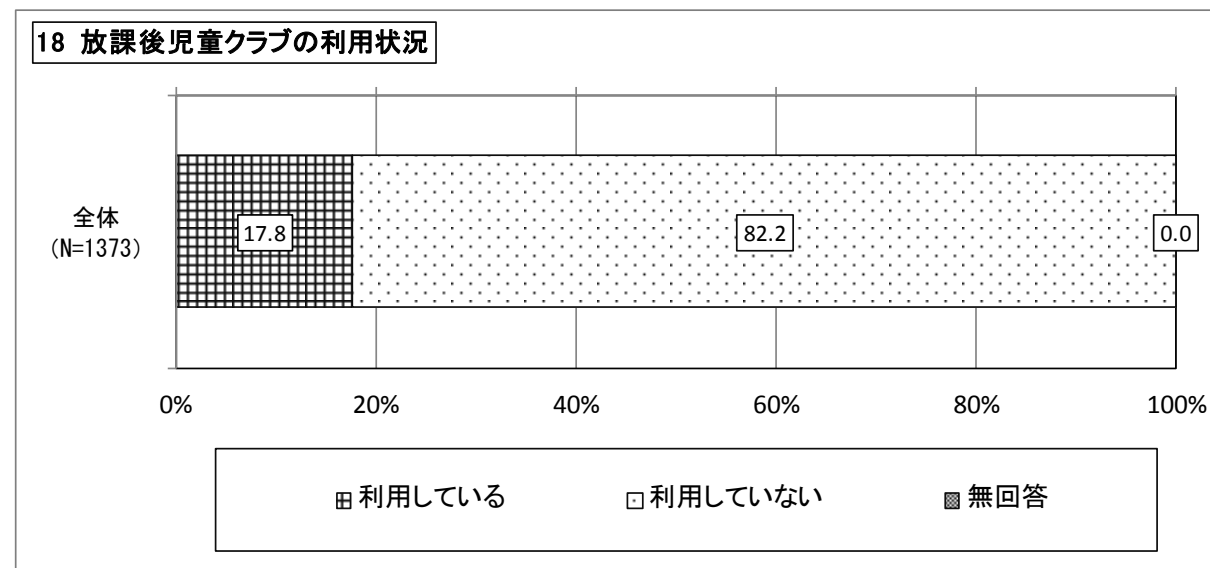
17 子どもが放課後（平日）および休日に過ごす場所

●子どもが放課後（平日）、土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中に過ごす場所は、
 1位「自宅（家族と過ごしている）」
 2位「公園など屋外（友だち等と遊んでいる）」
 3位「学習塾や習い事等」または「友達の家」



18 放課後児童クラブの利用状況

●放課後児童クラブの利用状況は、
 「利用している」が 17.8%
 「利用していない」が 82.2%



19 放課後児童クラブの満足度

●放課後児童クラブに対して、

『満足』は、1位「衛生対策」89.7%

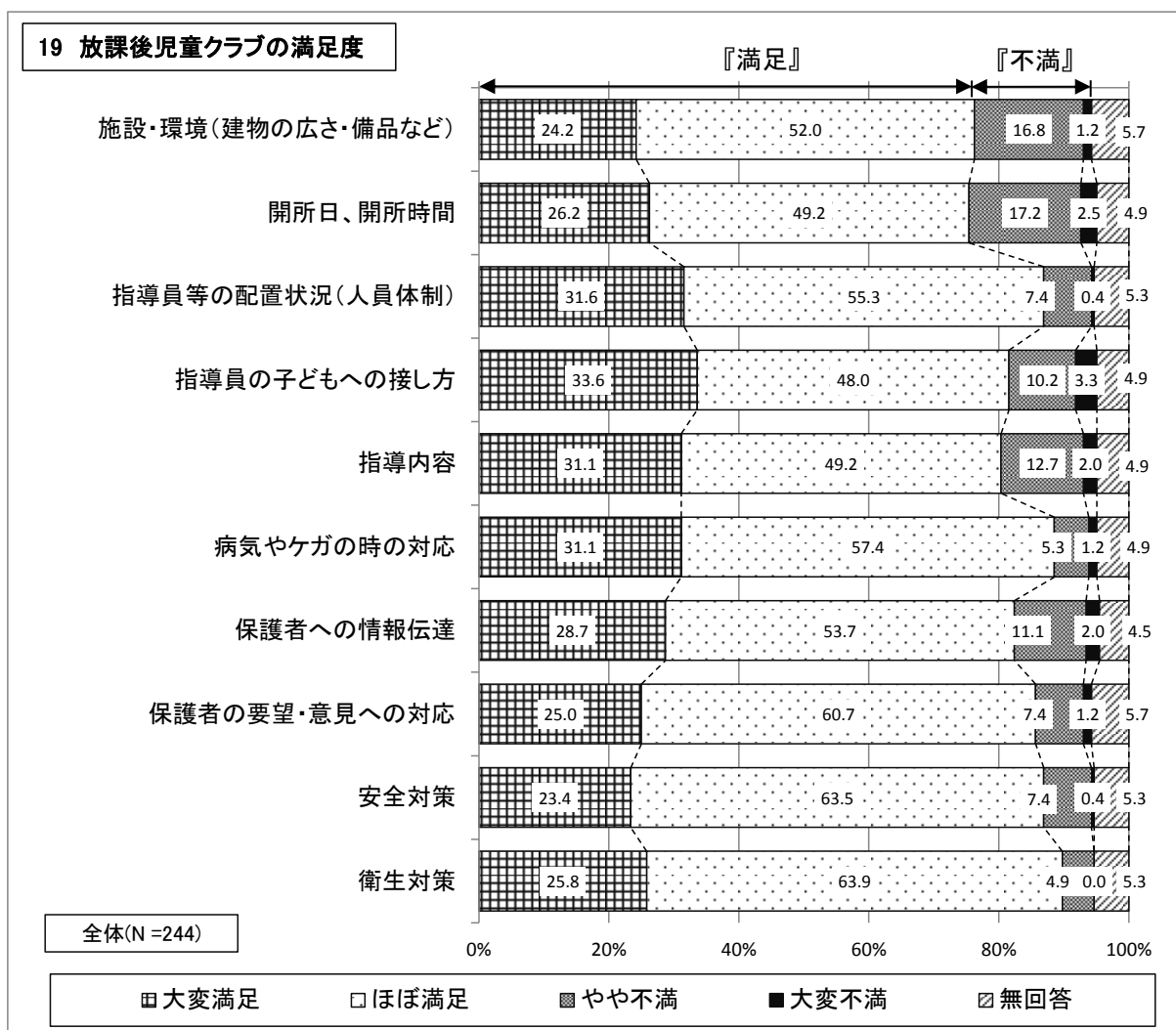
2位「病気やケガの時の対応」 88.5%

3位「指導員等の配置状況（人員体制）」86.9%、「安全対策」86.9%

『不満』は、1位「開所日、開所時間」19.7%

2位「施設・環境（建物の広さ・備品など）」18.0%

3位「指導内容」14.7%



- ・「大変満足」と「ほぼ満足」を合わせた『満足』が、10項目中8項目で8割を超えており、一定の評価を受けている。

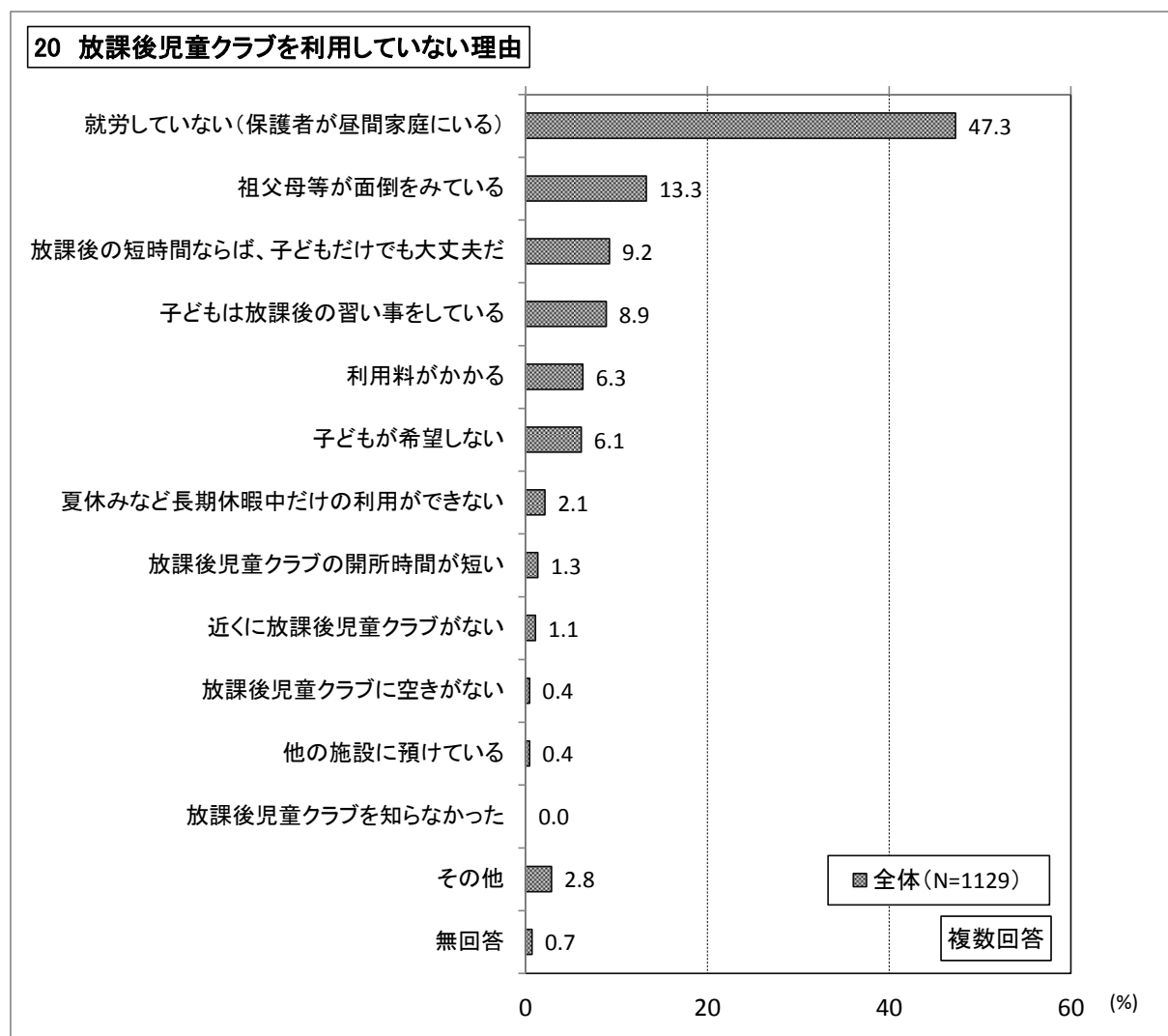
20 放課後児童クラブを利用していない理由

●放課後児童クラブを利用していない理由は、

1位 「就労していない(保護者が昼間家庭にいる)」 47.3%

2位 「祖父母等が面倒をみている」 13.3%

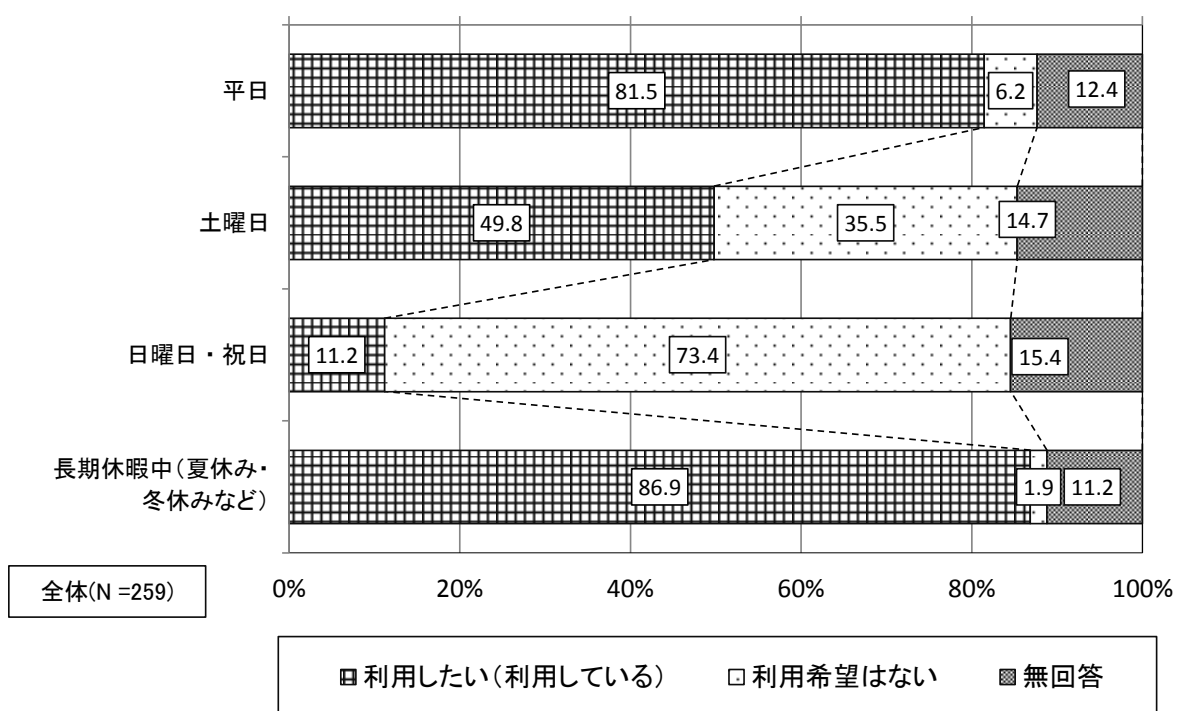
3位 「放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だ」 9.2%



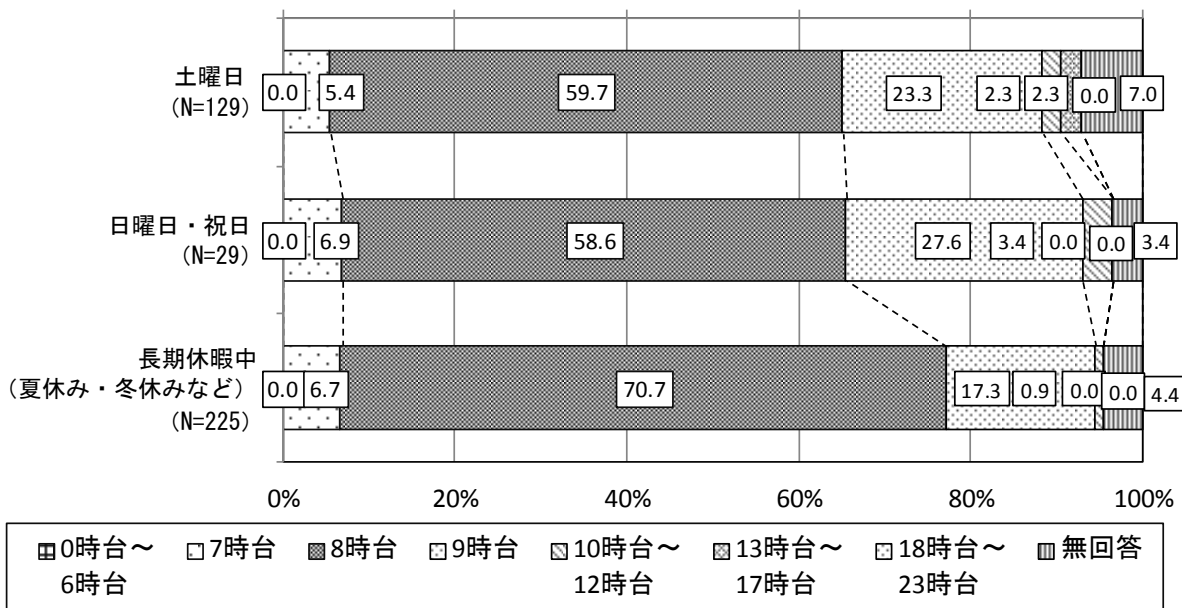
21 放課後児童クラブの利用希望

- 放課後児童クラブを現在利用している人、または開所時間が理由で利用していない人の利用希望は、
 平日が81.5%、土曜日が49.8%、日曜日・祝日が11.2%、
 長期休暇中(夏休み・冬休みなど)が86.9%
- 希望時間で最も多いのは、
 開始時間は「8時台」、終了時間は「17～18時台」

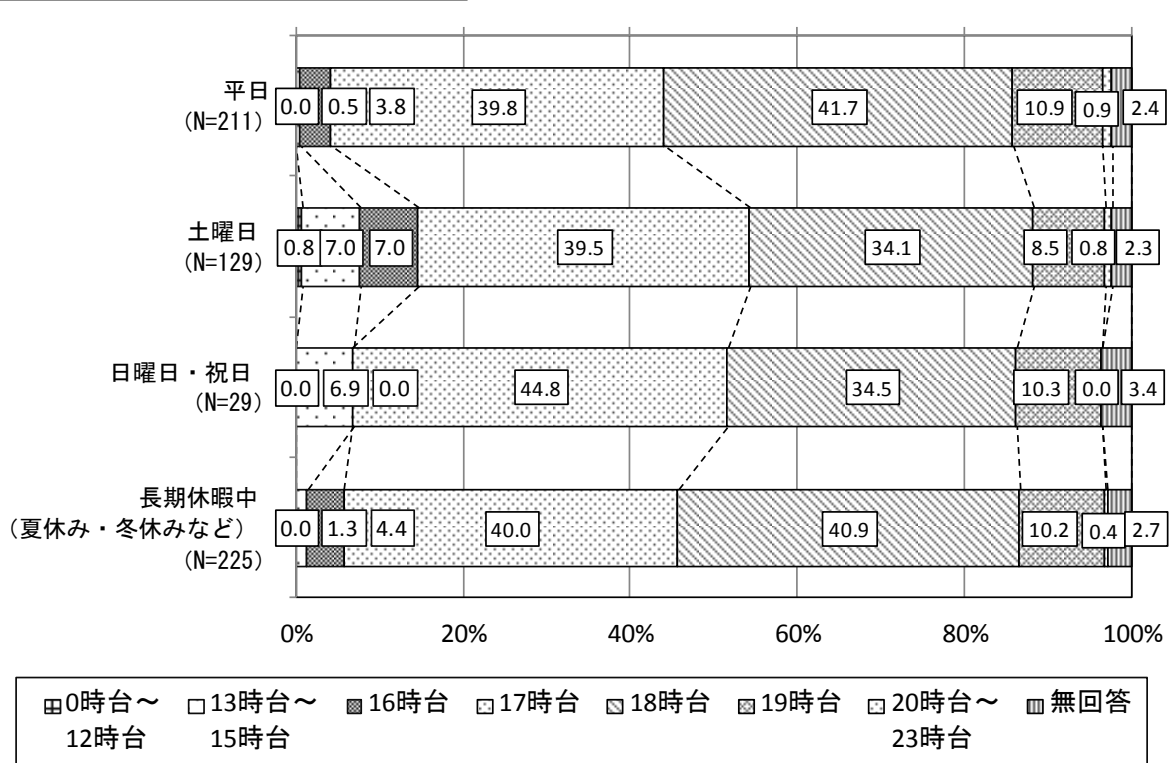
21-1 放課後児童クラブの利用希望



21-2 放課後児童クラブの希望開始時間



21-3 放課後児童クラブの希望終了時間



22 保護者がより力を入れてほしい子育て支援策

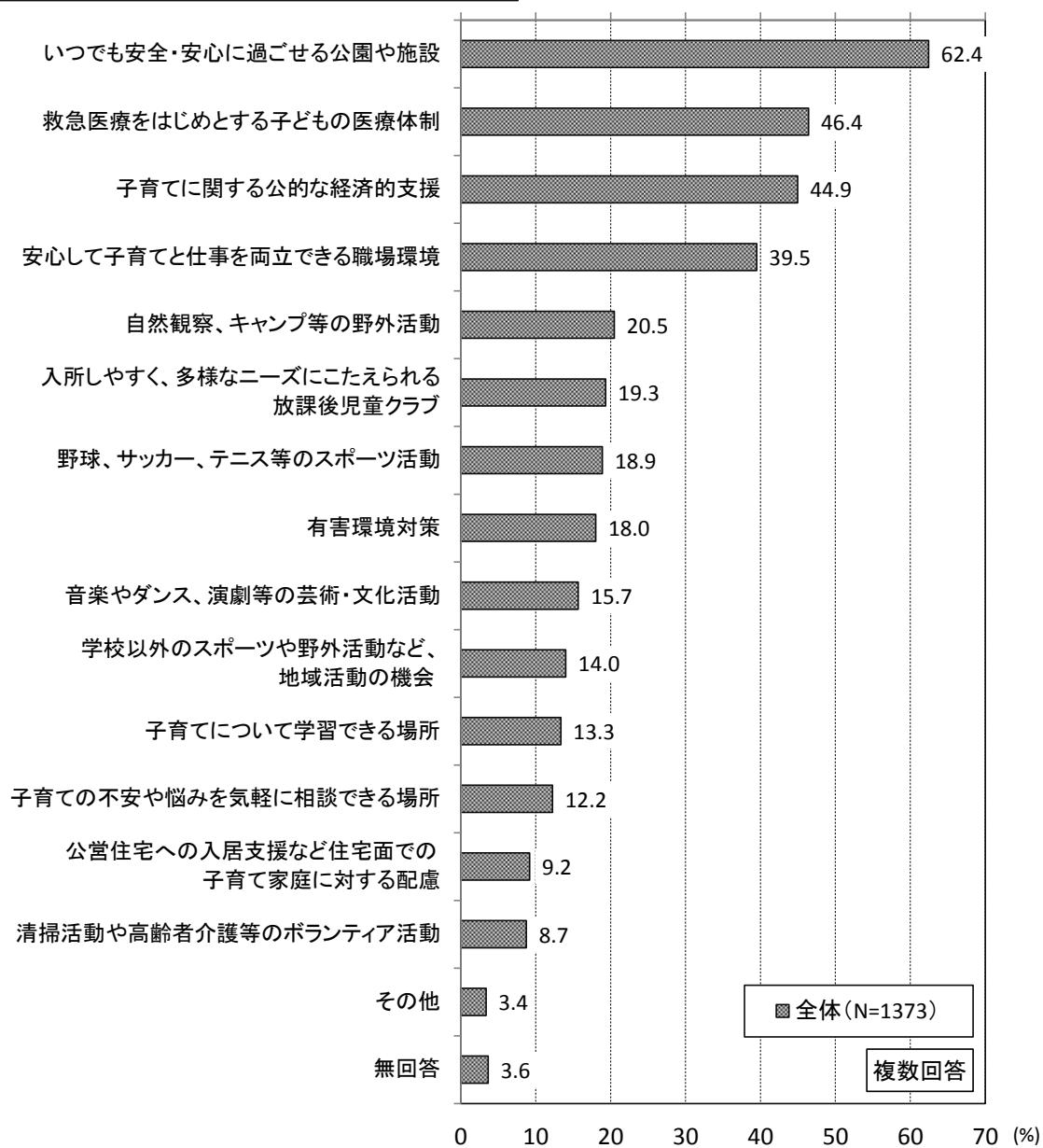
●保護者がより力を入れてほしい子育て支援策は、

1位 「いつでも安全・安心に過ごせる公園や施設」 62.4%

2位 「救急医療をはじめとする子どもの医療体制」 46.4%

3位 「子育てに関する公的な経済的支援」 44.9%

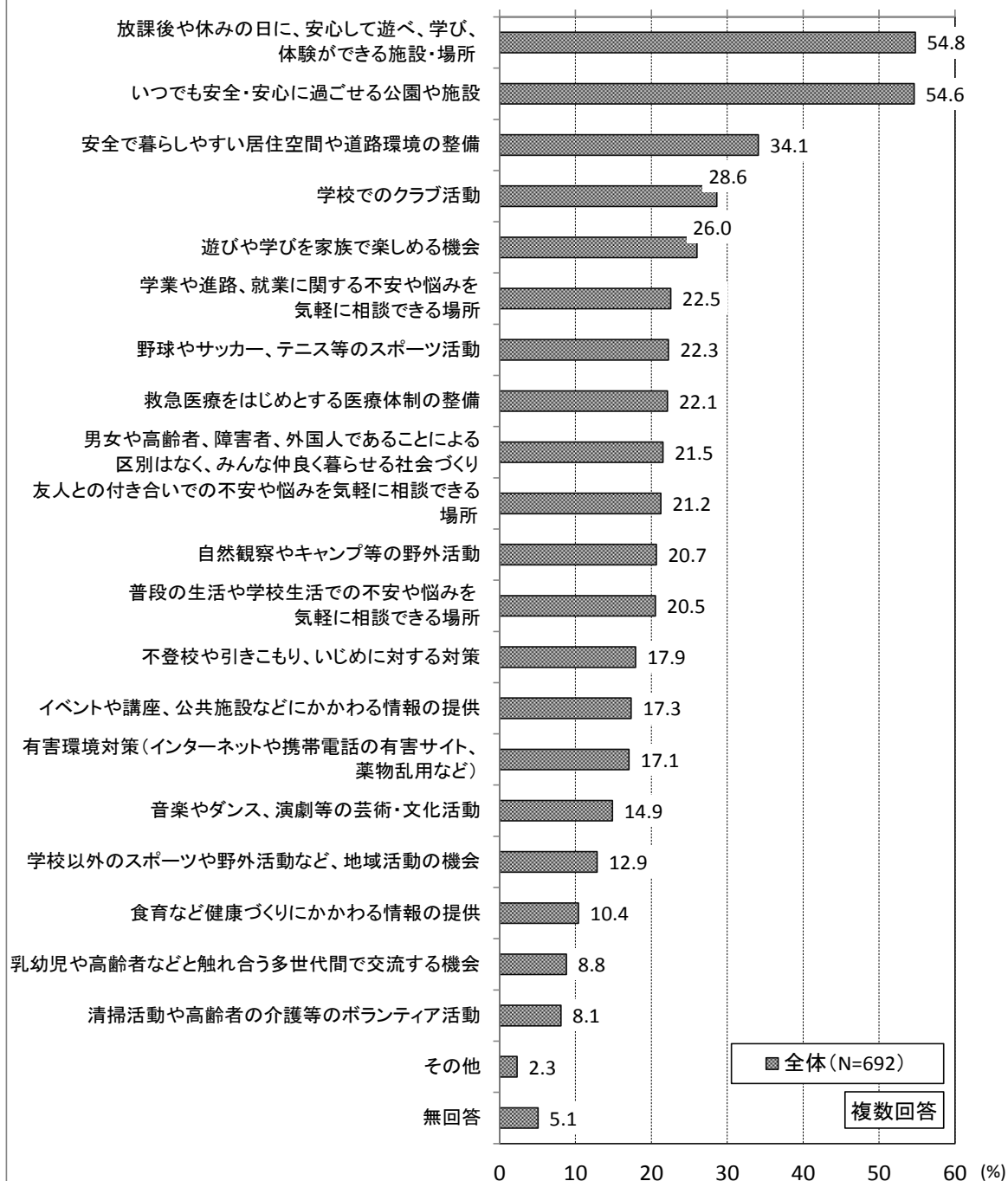
22 保護者がより力を入れてほしい子育て支援策



23 小学生（高学年）が希望する子育て支援策

- 小学生（高学年）が希望する子育て支援策は、
- 1位 「放課後や休みの日に、安心して遊べ、学び、体験ができる施設・場所」 54.8%
- 2位 「いつでも安全・安心に過ごせる公園や施設」 54.6%
- 3位 「安全で暮らしやすい居住空間や道路環境の整備」 34.1%

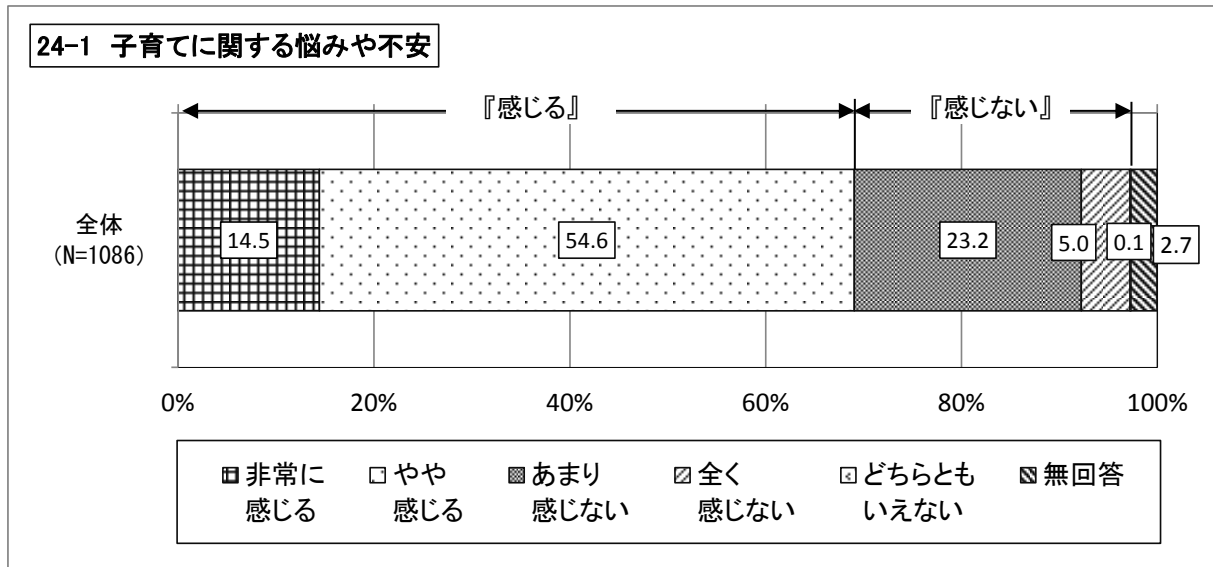
23 小学生（高学年）が希望する子育て支援策



中学・高校生保護者

24(1) 子育てに関する悩みや不安

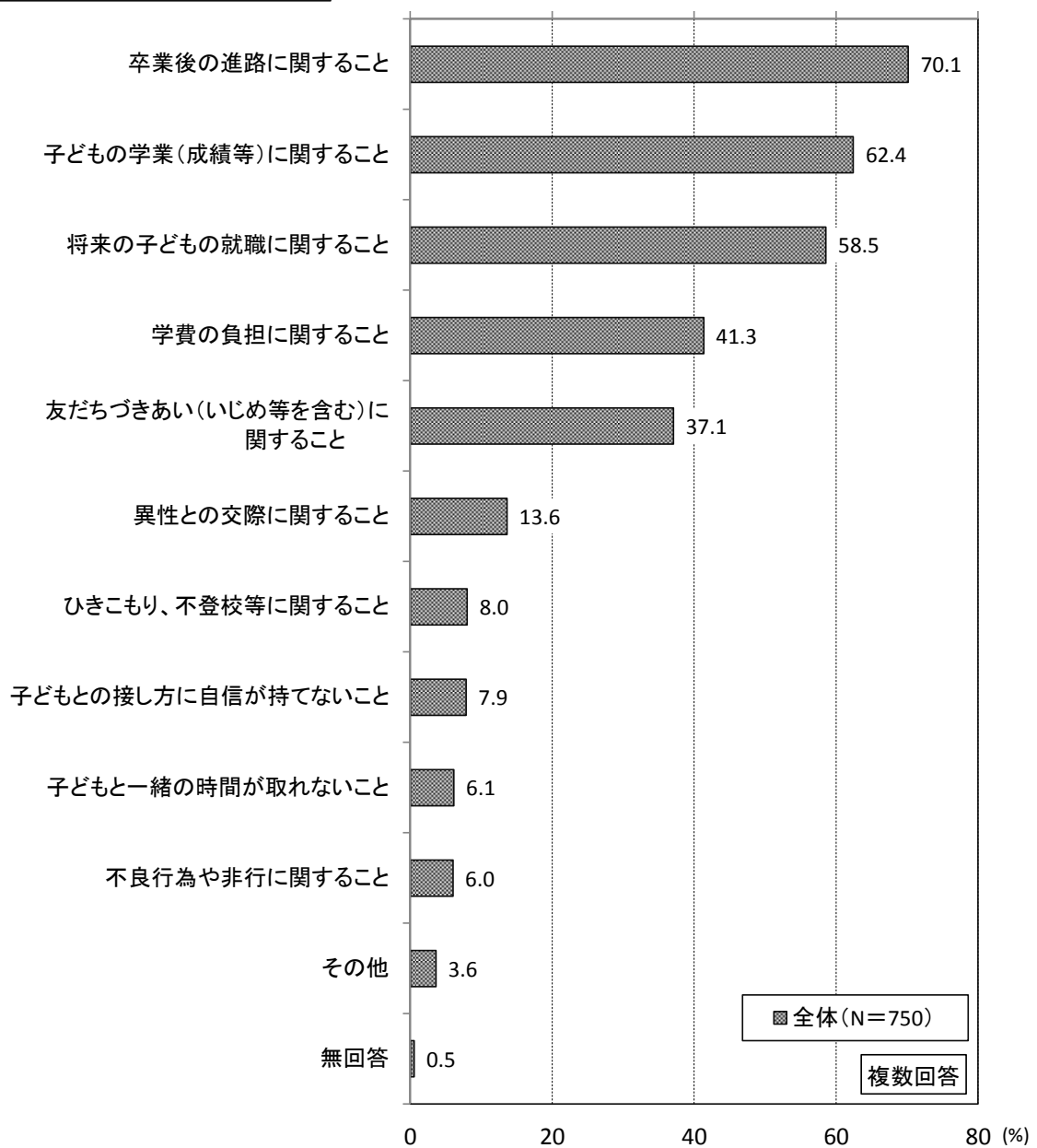
●子育てに関して悩みや不安を、
『感じる』が 69.1%
『感じない』が 28.2%



24(2) 子育てに関する悩みの内容

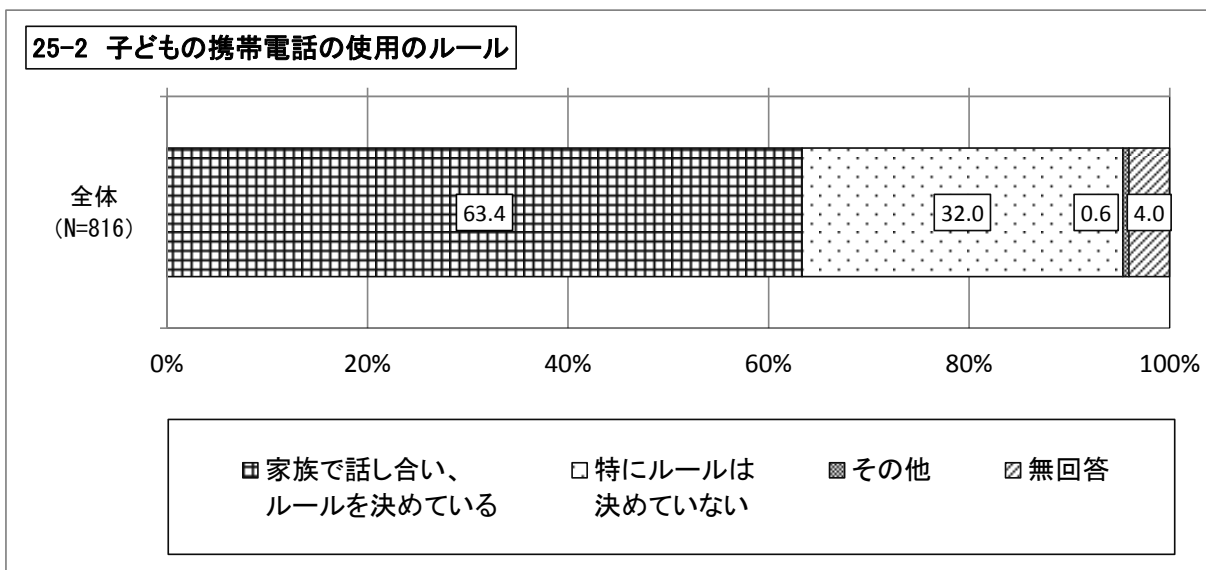
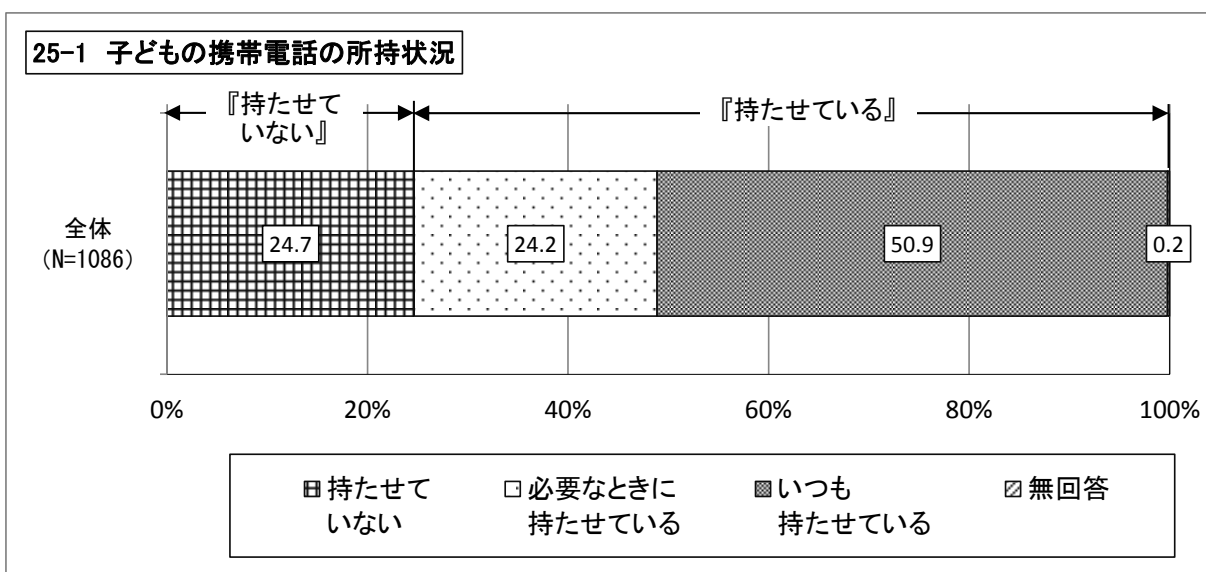
- 子育てに関して、悩んでいることや気になることは、
- 1位 「卒業後の進路に関すること」 70.1%
 - 2位 「子どもの学業(成績等)に関すること」 62.4%
 - 3位 「将来の子どもの就職に関すること」 58.5%

24-2 子育てに関する悩みの内容



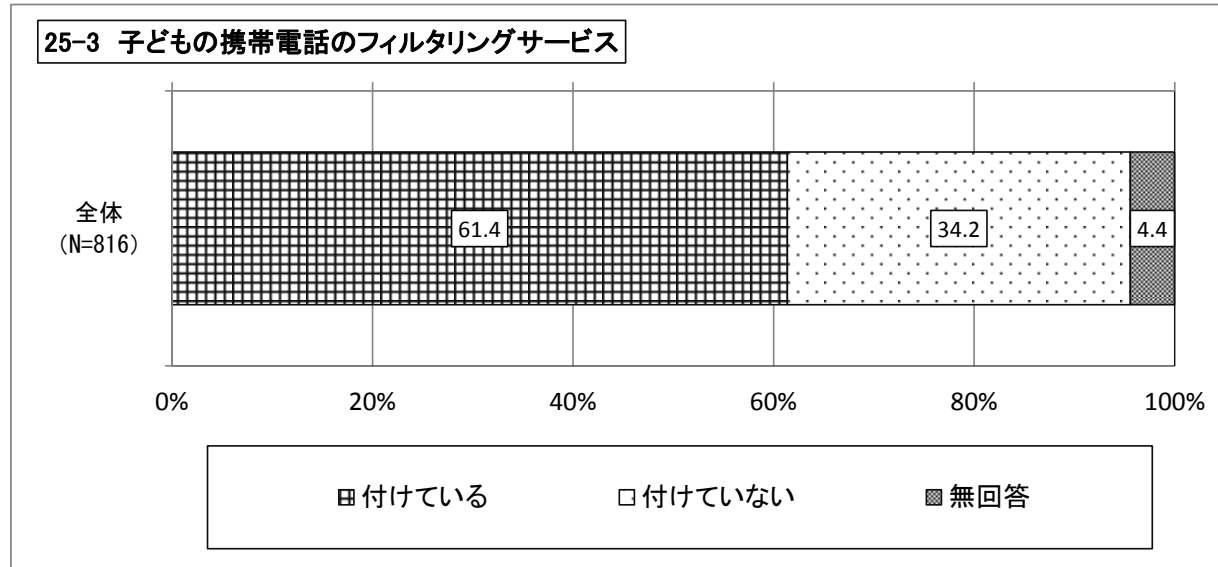
25(1) 子どもの携帯電話の所持状況、使用のルール

- 子どもの携帯電話の所持状況は、
 - 『持たせていない』が 24.7%
 - 『持たせている』が 75.1%
- 子どもが使用する際のルールは、
 - 「家族で話し合い、ルールを決めている」が 63.4%
 - 「特にルールは決めていない」が 32.0%



25(2) 子どもの携帯電話のフィルタリングサービス

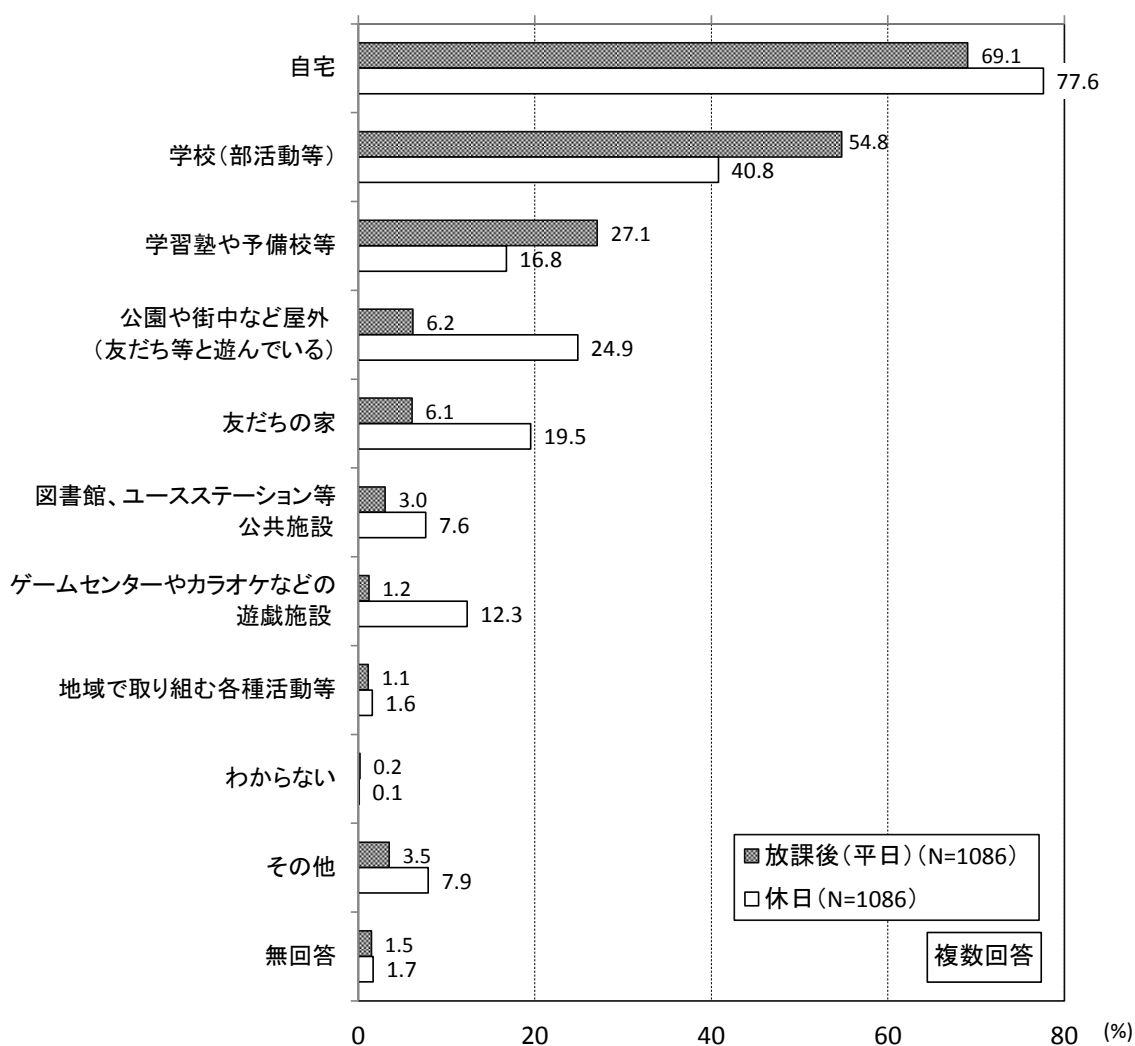
●子どもの持っている携帯電話のフィルタリングサービスは、
「付けている」が61.4%
「付けていない」が34.2%



26 子どもが放課後（平日）および休日に過ごす場所

- 子どもが放課後（平日）および休日に過ごす場所は、
- 1位 「自宅」
 - 2位 「学校（部活動等）」
 - 3位 「学習塾や予備校等」または「公園や街中など屋外（友だち等と遊んでいる）」

26 子どもが放課後（平日）および休日に過ごす場所



27 保護者がより力を入れてほしい子育て支援策

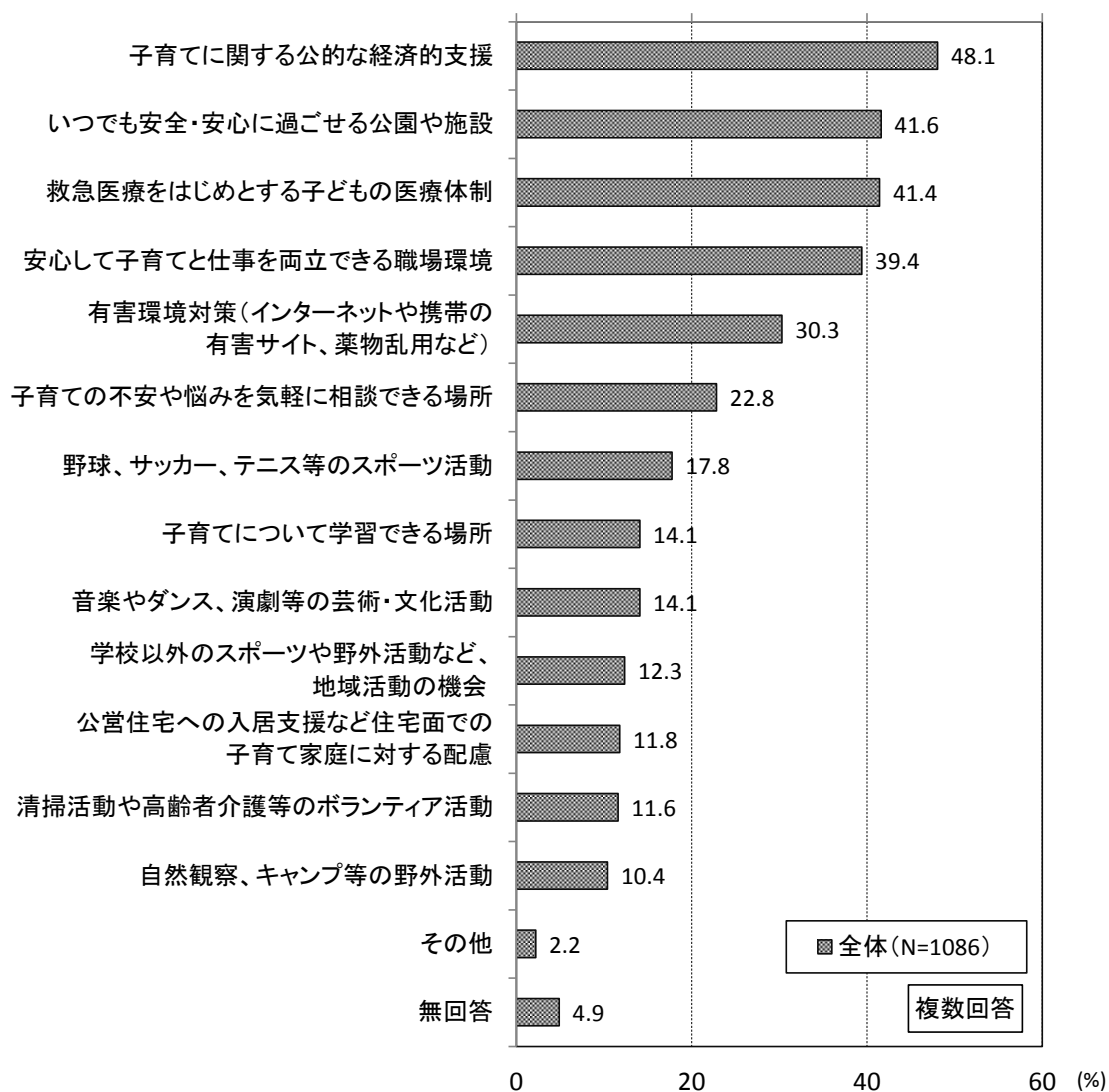
●保護者がより力を入れてほしい子育て支援策は、

1位 「子育てに関する公的な経済的支援」 48.1%

2位 「いつでも安全・安心に過ごせる公園や施設」 41.6%

3位 「救急医療をはじめとする子どもの医療体制」 41.4%

27 保護者がより力を入れてほしい子育て支援策



28 中学・高校生が希望する子育て支援策

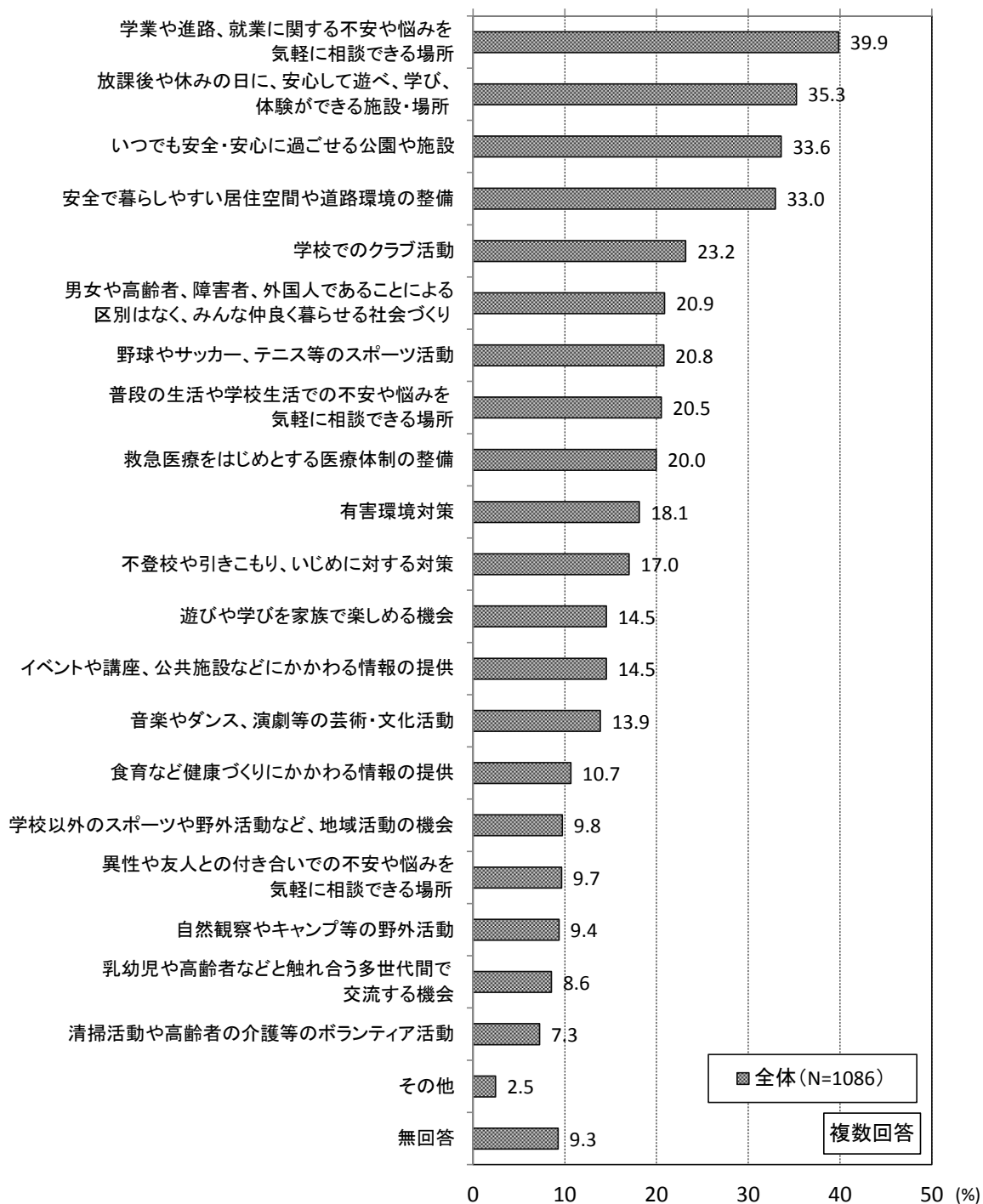
●中学・高校生が希望する子育て支援策は、

1位 「学業や進路、就業に関する不安や悩みを気軽に相談できる場所」 39.9%

2位 「放課後や休みの日に、安心して遊べ、学び、体験ができる施設・場所」 35.3%

3位 「いつでも安全・安心に過ごせる公園や施設」 33.6%

28 中学・高校生が希望する子育て支援策

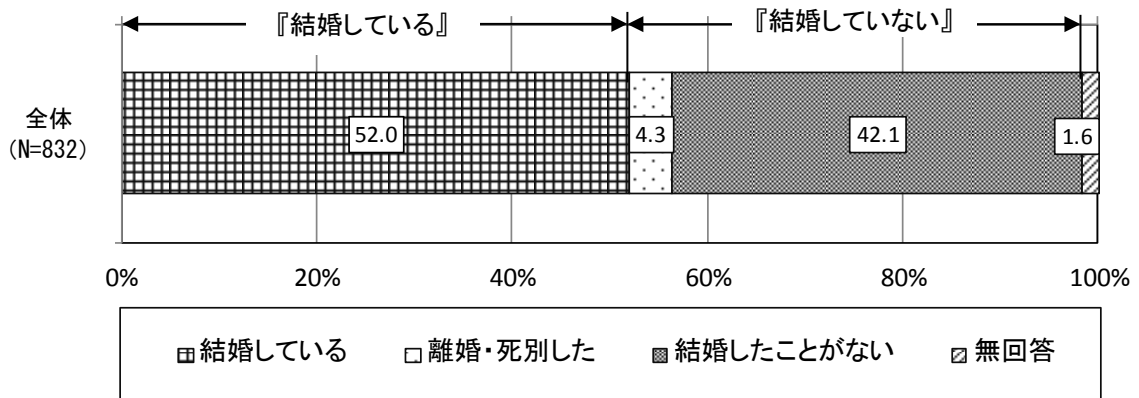


18歳以上40歳未満男女

29 結婚しているかどうか。独身者の結婚に対する考え

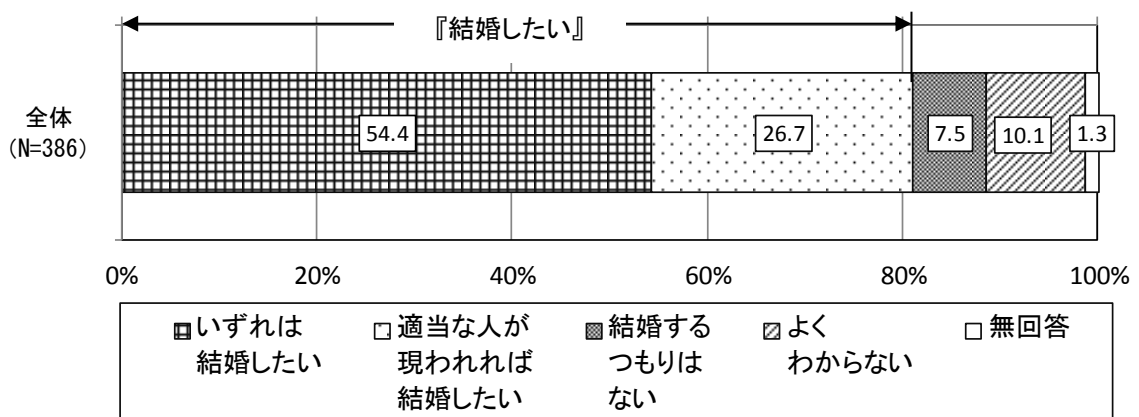
- 結婚しているかどうかについては、
『結婚している』が52.0%、『結婚していない』が46.4%
- 独身者の結婚に対する考えとしては、
『結婚したい』が81.1%、『結婚するつもりはない』が7.5%

29-1 結婚しているかどうか



・「結婚したことがない」と回答した人の割合が、42.1%となっている。

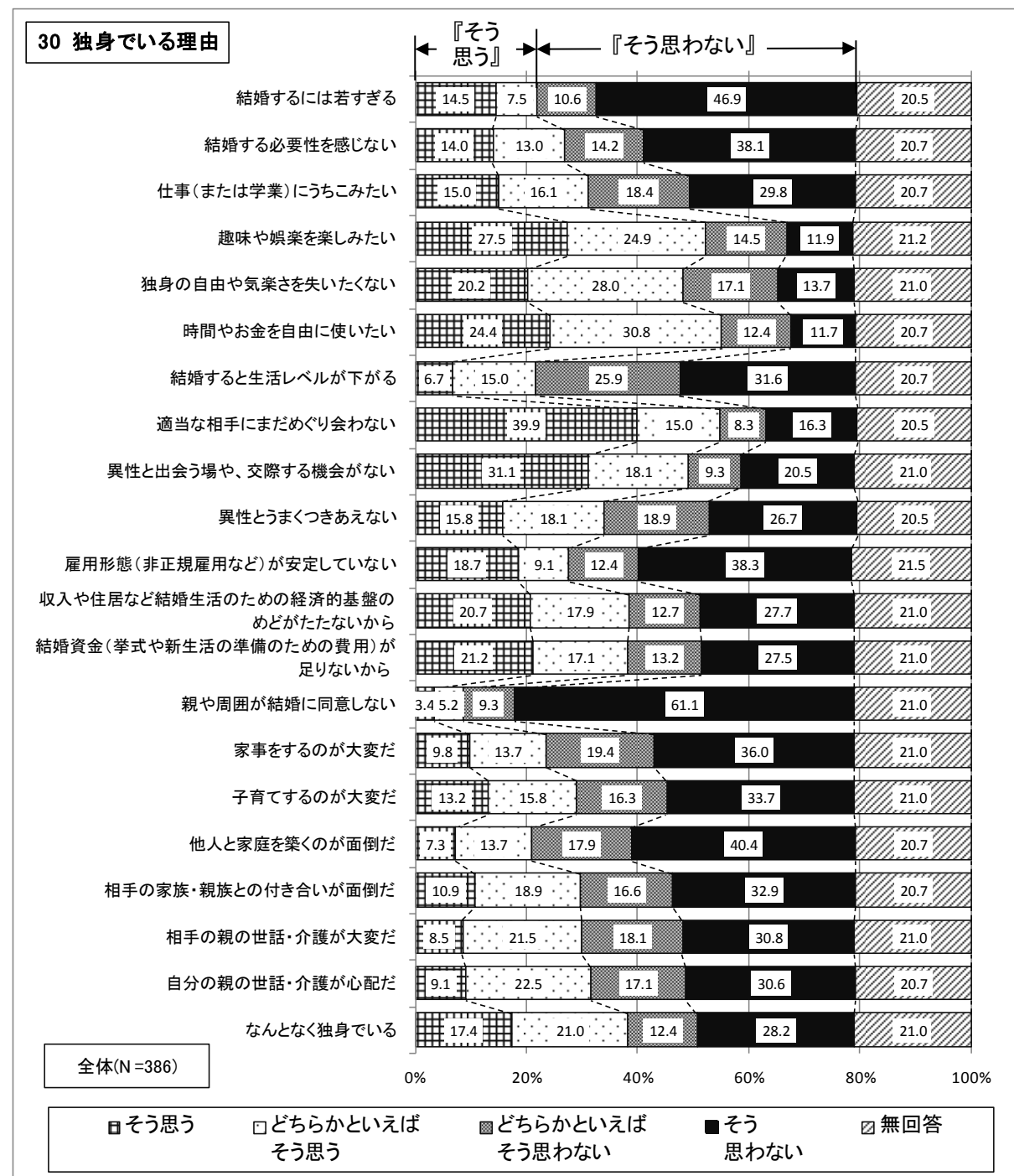
29-2 独身者の結婚に対する考え



・結婚について「よくわからない」と回答した人の割合が、10.1%となっている。

30 独身でいる理由

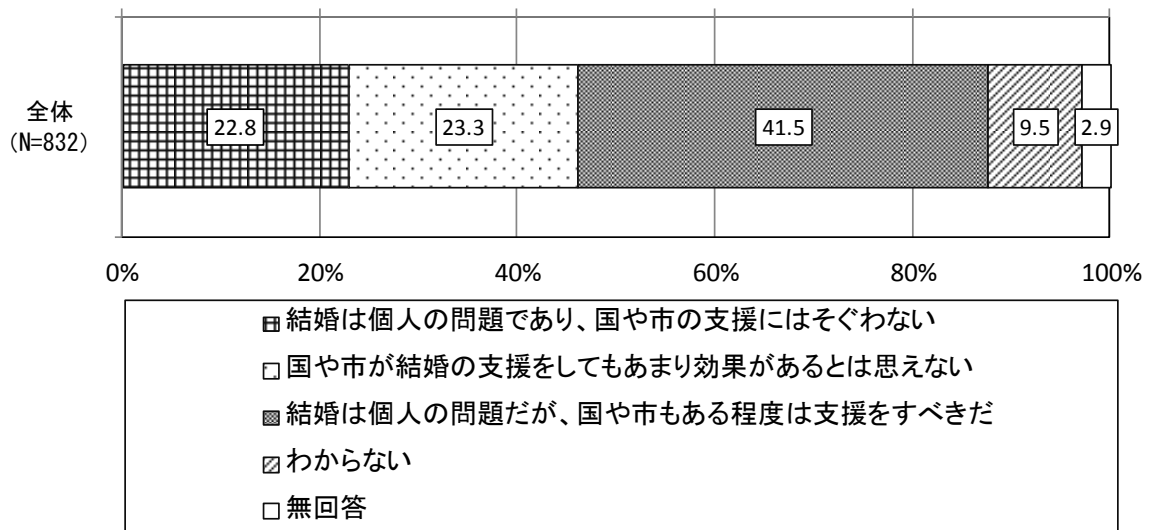
- 独身でいる理由について『そう思う』は、
- 1位 「時間やお金を自由に使いたい」 55.2%
 - 2位 「適当な相手にまだめぐり会わない」 54.9%
 - 3位 「趣味や娯楽を楽しみたい」 52.4%



31 結婚への国・自治体の支援への考え

- 結婚への国・自治体の支援への考えとしては、
- 1位 「結婚は個人の問題だが、国や市もある程度は支援をすべきだ」 41.5%
 - 2位 「国や市が結婚の支援をしてもあまり効果があるとは思えない」 23.3%
 - 3位 「結婚は個人の問題であり、国や市の支援はそぐわない」 22.8%

31 結婚への国・自治体の支援への考え



32 出産に対する考え

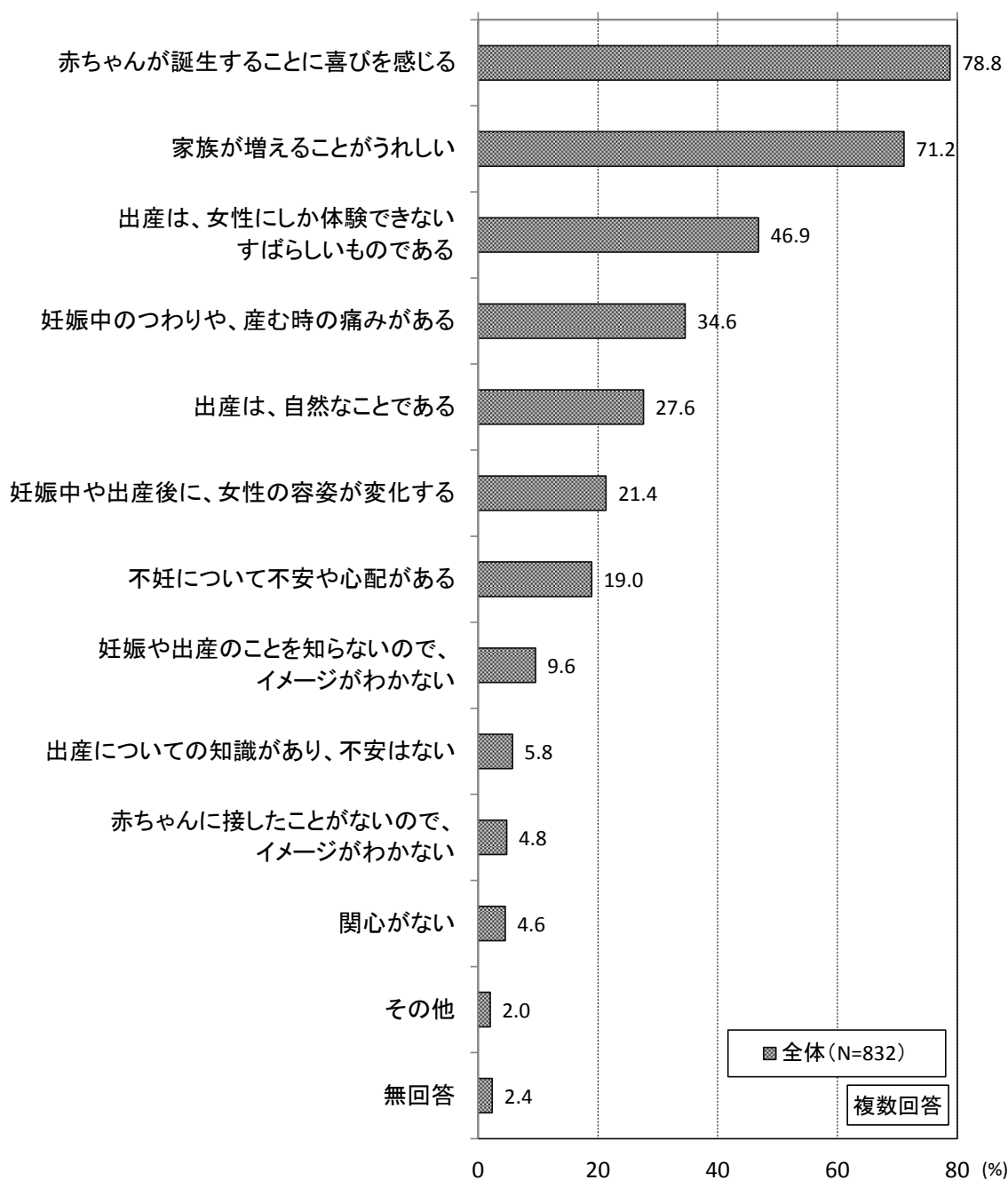
● 出産に対する考えは、

1位 「赤ちゃんが誕生することに喜びを感じる」 78.8%

2位 「家族が増えることがうれしい」 71.2%

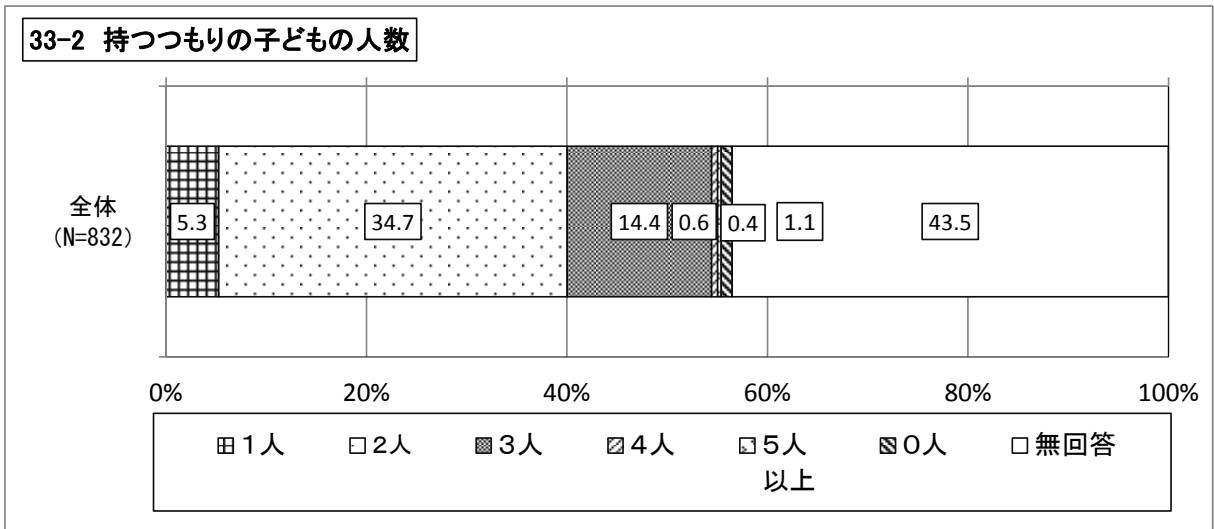
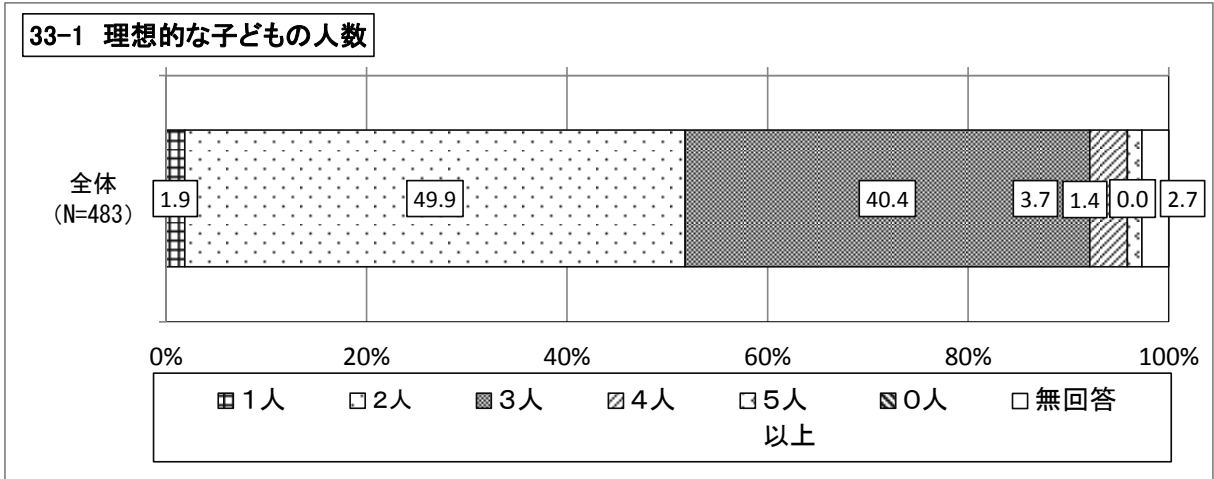
3位 「出産は、女性にしか体験できないすばらしいものである」 46.9%

32 出産に対する考え



33(1) 理想的な子どもの人数と持つつもりの子どもの人数

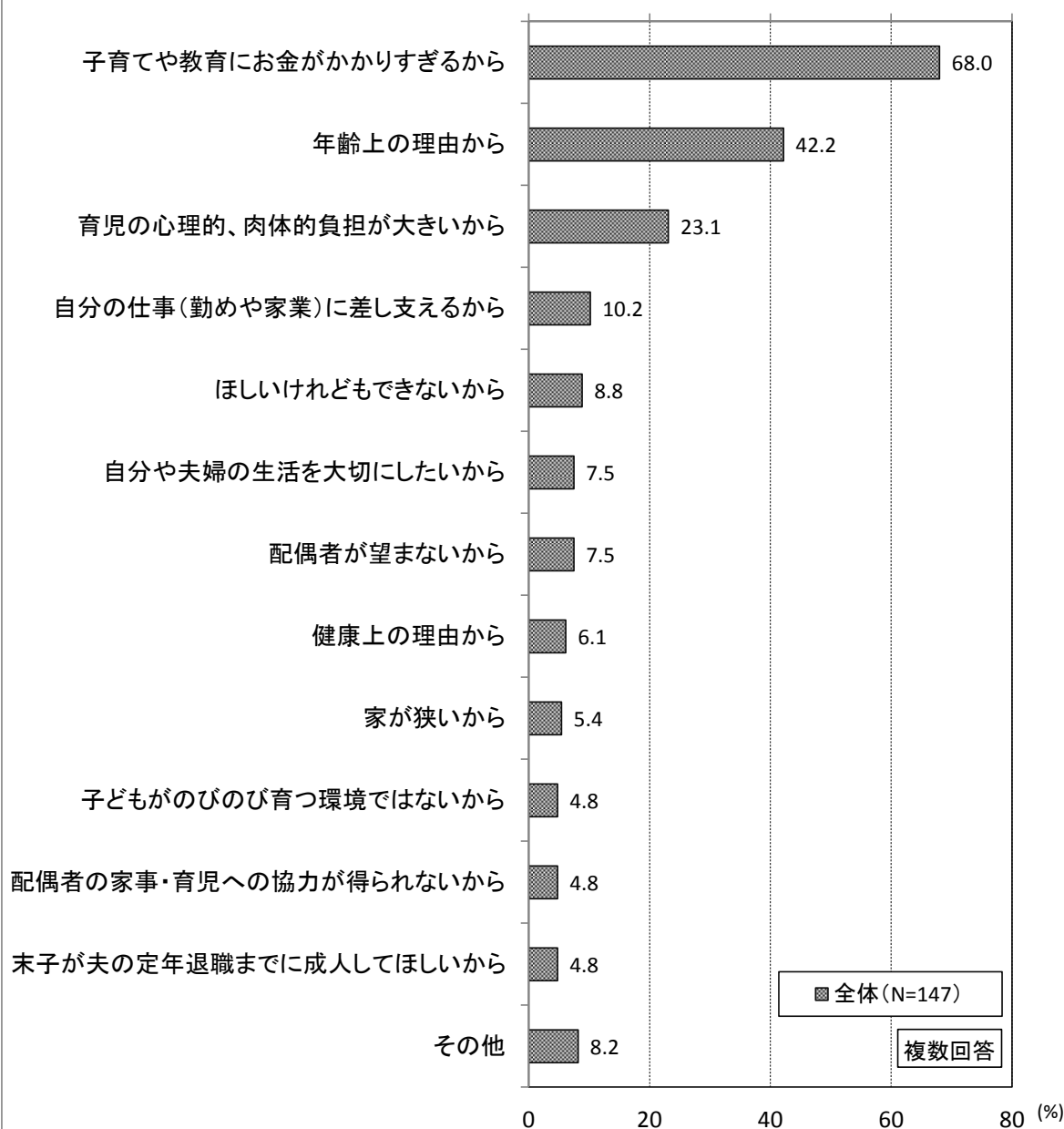
- 理想的な子どもの人数は、比率の高いほうから
「2人」が49.9%、「3人」が40.4%、「4人」が3.7%
- 実際、持つつもりの子どもの人数は、比率の高いほうから
「2人」が34.7%、「3人」が14.4%、「1人」が5.3%



33(2) 理想的な子どもの人数と持つつもりの子どもの人数に差が生じる理由

- 理想的な子どもの人数と持つつもりの子どもの人数の差が生じる理由は、
- 1位 「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」 68.0%
- 2位 「年齢上の理由から」 42.2%
- 3位 「育児の心理的、肉体的負担が大きいから」 23.1%

33-3 理想的な子どもの人数と持つつもりの子どもの人数に差が生じる理由



北九州市子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査 報告書
(概要版)
平成26年3月

発行 北九州市子ども家庭局子ども家庭部子ども家庭政策課
〒803-8501 北九州市小倉北区域内1番1号
TEL 093(582)2550
FAX 093(582)0070

北九州市印刷物登録番号 第1335061A号